

米原市多文化共生社会実現に向けた  
市民意識調査報告書

2010年1月

多文化共生研究会

## 目次

はじめに .....	1
1. 調査の概要 .....	1
1) 調査の目的 .....	1
2) 方法 .....	2
3) 主な調査内容 .....	3
4) 調査対象の属性 .....	3
2. 外国籍市民とのつきあい行動 .....	7
1) 外国籍市民の割合・人権施策基本方針の認知 .....	7
2) 外国籍市民とのつきあい .....	9
3) 日常生活における外国籍市民との接触 .....	11
3. 外国籍市民への親しみ意識と抵抗感 .....	13
1) 外国人についての考え方 .....	13
2) 在日外国人との接触における抵抗感 .....	23
3) 外国籍市民に対する親しみの意識 .....	28
4. 外国籍市民のための活動と人権 .....	30
1) 在日外国人のための活動に対する参加意欲 .....	30
2) 外国人の人権と必要な施策への意識 .....	38
おわりに .....	43
資料 .....	46
調査票 .....	46
単純集計表 .....	54
自由記述回答 .....	77

## はじめに

現在、日本には日本の総人口の1.74%にあたる、2,217,426人の外国籍の人々が暮らししており、日本全体での外国人登録者数は年々増え続けている。一方、米原市における外国人登録者数は2010年2月1日現在で627人であり、急速な国際化が進行している。とりわけ、米原市では、ブラジル国籍の人々の増加が著しく、外国人登録者のうち、およそ2人に1人がブラジル国籍である。

2005年に米原市が発足して以来、米原市では全ての市民の基本的な人権が尊重され、人が輝く住みよいまちを目指して取り組みを進めてきたが、外国籍市民に対する施策は他の自治体と比べるとやや遅れていることは否めない。そこで米原市では、外国籍市民に対する施策の構築が重要な課題の一つであるとの認識から、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化・習慣の違いを認め合い対等な関係を築き、地域社会の構成員としてともに暮らしていく「多文化共生社会」を実現すべく、実態把握のための調査を開始した。

昨年度は、外国籍市民の置かれている現状とその課題を把握することを目的として、市内在住の外国籍の人々を対象とした「外国籍市民インタビュー調査」を行った。今年度は、外国籍市民に対する米原市民の意識や、外国籍市民と米原市民との関わりの実態を把握し、今後外国籍市民に対する効果的な人権施策を推進するために、市内在住の日本人を対象とした市民意識調査を行うこととした。

なお、本調査は、昨年度実施した外国籍市民調査同様、米原市から委託を受けた多文化共生研究会が実施した。調査の企画および統括は研究会代表で、異文化間教育学および移民研究を専門とする、山ノ内裕子（関西大学）が行い、調査票の集計および分析は、多文化共生研究会メンバーで計量分析および家族社会学を専門とする、大瀧友織（広島国際大学）が担当した。また、本報告書の執筆は、「はじめに」「第1章第1節」「おわりに」を山ノ内が、そしてそれ以外の章および節は、すべて大瀧が行った。

## 1. 調査の概要

### 1) 調査の目的

「はじめに」で述べたように、本調査は、米原市が外国籍市民に対する効果的な人権施策を推進するために、外国籍市民に対する米原市民の意識や、外国籍市民と米原市民との関わりの実態を把握することが目的である。

米原市には山東地区を中心に、派遣業者の経営するアパートが数軒あり、米原市およびその周辺の都市で勤務するブラジル籍と少数ではあるがフィリピン籍の人々が在住している。加えて、市内には中国やベトナムからの技術研修生を受け入れている企業があるため、米原市は、いわゆるオールドカマーである韓国・朝鮮籍の人々に加えて、ブラジル、中国、ベトナム、フィリピン出身の人々が在住している。

米原市民は、急激な外国籍市民の増加をどのように受け止めているのだろうか。また、米原市民は、外国籍市民とどのような関わりをもち、今後どのような形で関わっていきたいと考えているのだろうか。また、外国籍市民の人権を尊重するための施策についてどのような考えを持っているのだろうか。

本調査では、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化・習慣の違いを認め合い対等な関係を築き、地域社会の構成員としてともに暮らしていく「多文化共生社会」の実現を目指して、外国籍市民の実態の把握に加えて、米原市民の意識や実態を把握することを試みる。

第1章では、本調査の概要として、調査目的や方法、主な調査内容、調査対象の基本的な属性などについて述べていく。

第2章では、外国籍市民とのつきあい行動に焦点を当てる。まず、米原市における外国籍市民の割合や、「米原市人権施策基本方針」に外国人の人権に関して記載されていることが認知されているのか否かを見る。その上で、外国籍市民とどの程度のつきあい行動があるのか、またそのつきあいの程度には、性別や年齢など属性による違いが見られるのかを検討する。さらに、そういったつきあい行動が始まる契機とも言える、日常生活における外国人との接触機会がどの程度あるのかを明らかにする。

第3章では、「日本に外国人が増えるのは好ましいことだ」「政治的な迫害で難民となった外国人を積極的に受け入れた方が良い」といった意見に対する賛否から、外国人観について検討する。続いて、在日外国人が自分の上司や、子どもと結婚することに対して、抵抗感を持つか否か、逆に「親しみ」を感じる外国人は国籍や地域によって違いがあるのかといった問題を扱う。また、こういった外国人観が調査対象者の属性の他、外国人とのつきあい行動の程度や、地域意識、結婚観などどのように関連しているのかについても分析する。

第4章では、在日外国人のために実施される活動への参加意欲や、外国人の人権を守るためにどのようなことが重要であると受け止められているのかといった点について検討する。

## 2) 方法

- 調査地域 : 滋賀県米原市
- 調査対象 : 20歳以上の日本人
- 対象抽出法 : 無作為抽出（性別および4地域別で層化）<sup>1</sup>
- 調査方法 : 郵送自記式
- サンプル数 : 1316
- 有効回収数 : 699票（707票回収のうち、8票が無効票）
- 有効回収率 : 53.1%

---

<sup>1</sup> 対象者の抽出、調査票の発送および回収については、滋賀県米原市人権推進課の責任においておこなわれた。

表 1-1：対象サンプルの性別・地域別構成（山東地域）

山東地域	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計(人)
男性	31	31	31	34	33	39	199
女性	27	32	33	33	33	56	214
合計	58	63	64	67	66	95	413

表 1-2：対象サンプルの性別・地域別構成（伊吹地域）

伊吹地域	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計(人)
男性	14	14	14	15	14	19	90
女性	13	13	14	14	16	29	99
計	27	27	28	29	30	48	189

表 1-3：対象サンプルの性別・地域別構成（米原地域）

米原地域	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計(人)
男性	29	30	29	32	30	38	188
女性	26	28	28	30	33	56	201
計	55	58	57	62	63	94	389

表 1-4：対象サンプルの性別・地域別構成（近江地域）

近江地域	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計(人)
男性	24	30	26	28	22	26	156
女性	26	28	28	24	24	39	169
計	50	58	54	52	46	65	325

#性別および地域別のサンプル数は実数。ただし年代については概算（人口比で案分）

#表 1-1～1-4：表内の数値は度数

### 3) 主な調査内容

- 米原市の基本方針への認知
- 在日外国人とのつきあい、接触の有無
- 在日外国人観、親しみの意識、人権意識
- 在日外国人関連活動への参加意欲、地域意識、家族意識
- フェイス項目

### 4) 調査対象の属性

- 性別・年齢と居住地域

調査対象のうち、過半数は女性となっている。また、年齢階級別には70代以上が25.4%、

60代が19.6%で、45%が60代以上である。さらに50代を加えると6割を上回り、高年層の割合が高いことが分かる（表1-5）。

居住地域別には、米原地域、山東地域がそれぞれ3割強を占めており、近江地域が2割、伊吹地域が1割強程度という構成になっている。また、以前の住所については、生まれてから住所をかえていない人が4割弱、滋賀県内の他市町村にいた人が約4割、滋賀県外に住んでいた人が2割となっていた（表1-6、1-7）。

一方、米原市内の通算居住年数を見ると、10年未満の人は1割足らずとなっており、85%以上が15年以上米原市内に住んでいることが分かる（表1-8）。

表 1-5：性別と年齢のクロス表（クロス表・単純集計表中の小数値は% 以下も同様）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計(人)
男性	11.7	10.7	14.9	18.4	18.8	25.6	309
女性	8.8	12.3	15.7	17.6	20.3	25.3	375
合計	10.1	11.5	15.4	18.0	19.6	25.4	684

表 1-6：居住地域

	度数	有効パーセント	累積パーセント
米原	220	31.7	31.7
近江	154	22.2	53.8
山東	221	31.8	85.6
伊吹	100	14.4	100.0
合計	695	100.0	

表 1-7：以前の住所

	度数	有効パーセント	累積パーセント
生まれてからずっと現在の住所に住んでいる	253	36.9	36.9
滋賀県内の他市町村に住んでいた	276	40.2	77.1
滋賀県外に住んでいた	157	22.9	100.0
合計	686	100.0	

表 1-8：米原市内の居住年数

	度数	有効パーセント	累積パーセント
1年未満	6	0.9	0.9
1年以上3年未満	16	2.3	3.2
3年以上5年未満	13	1.9	5.1
5年以上10年未満	23	3.3	8.4
10年以上15年未満	40	5.8	14.2
15年以上	594	85.8	100.0
合計	692	100.0	

● 家族形態

家族関係については、対象者のうち7割以上に配偶者がおり、現在配偶者のいない人（離死別者）と未婚者がそれぞれ1割強ずつという状況になっている（表 1-9）。同居している家族員数については、1人暮らしが5%程度で、2～4人暮らしがそれぞれ2割程度ずつ、5人暮らし、6人暮らしが1割ずつとなっている（表 1-10）。

家族形態を見ると、3世代同居が最も多く、3割を超えている。次いで夫婦と未婚の子どもからなる核家族世帯が3割弱を占めており、2割弱の夫婦のみの世帯が続いている（表 1-11）。また、居住地域別に見ると、家族形態に特徴的な違いがあることが分かる。ひとり暮らし世帯は米原、伊吹地域、夫婦のみ世帯は米原、山東地域、核家族世帯は近江地域で多く、3世代同居は米原のみで少ないという状況になっている（表 1-12）。

表 1-9：配偶者の有無

	度数	有効パーセント	累積パーセント
いる	515	74.5	74.5
現在はいない(離別)	16	2.3	76.8
現在はいない(死別)	71	10.3	87.1
結婚したことがない(未婚)	89	12.9	100.0
合計	691	100.0	

表 1-10：同居している家族数

	度数	有効パーセント	累積パーセント
1	37	5.4	5.4
2	145	21.3	26.7
3	136	19.9	46.6
4	130	19.1	65.7
5	97	14.2	79.9
6	86	12.6	92.5
7	43	6.3	98.8
8	8	1.2	100.0
合計	682	100.0	

表 1-11：家族形態

	度数	有効パーセント	累積パーセント
ひとり暮らし(単身世帯)	30	4.4	4.4
夫婦のみ	127	18.7	23.1
夫婦と未婚の子ども(核家族世帯)	199	29.3	52.4
3世代で同居	223	32.8	85.3
その他	100	14.7	100.0
合計	679	100.0	

表 1-12：居住地域と家族形態のクロス表

	ひとり暮らし (単身世帯)	夫婦のみ	夫婦と未婚の子ども (核家族世帯)	3世代で 同居	その他	合計 (人)
米原	8.0	23.0	29.1	23.9	16.0	213
近江	0.7	11.6	37.4	36.7	13.6	147
山東	2.8	20.2	25.2	36.7	15.1	218
伊吹	6.1	16.3	25.5	38.8	13.3	98
合計	4.4	18.6	29.1	33.0	14.8	676

- 学歴と職業、収入

対象者の最終学歴について見ると、最も割合が多くなっているのは、高等学校卒の4割である。中学校卒、短大・高専・専門学校卒の2割が続いている。すでに述べたように、対象者の半数近くが60代以上という高い年齢層にあり、大卒以上は2割に満たない(表 1-13)。

同じ理由から、職業に関しても、最も多いのは無職であり約25%を占めている。次いで、事務系の勤め人、作業系の勤め人、パートタイム・アルバイト、専業主婦・主夫が多く、それぞれ12~13%となっている(表 1-14)。

収入に関して、最も大きい割合を占めているのは、300~600万円未満であり、600~900万円未満の層が続いている。また、600万円未満は6割近く、内訳としては300万円未満が2割強、300~600万円未満が4割弱となっている(表 1-15)。

表 1-13：最終学歴

	度数	有効パーセント	累積パーセント
中学校	141	20.9	20.9
高等学校	283	41.9	62.7
短大・高専・専門学校	132	19.5	82.2
大学(4年制)	111	16.4	98.7
大学院	9	1.3	100.0
合計	676	100.0	



表 1-14：職業の種類

	度数	有効パーセント	累積パーセント
農林水産業	21	3.1	3.1
自営の商工業	34	5.0	8.1
専門、自由業(教員、医者など)	35	5.1	13.2
管理職(課長級以上)	23	3.4	16.6
事務系の勤め人(ホワイトカラー)	85	12.5	29.0
作業系の勤め人(ブルーカラー)	86	12.6	41.6
パートタイム・アルバイト	89	13.0	54.7
専業主婦・主夫	90	13.2	67.9
学生	13	1.9	69.8
無職	171	25.1	94.9
その他	35	5.1	100.0
合計	682	100.0	

表 1-15：過去1年の世帯収入

	度数	有効パーセント	累積パーセント
0～300万円未満	145	22.4	22.4
300～600万円未満	237	36.6	59.0
600～900万円未満	156	24.1	83.0
900～1200万円未満	77	11.9	94.9
1200万円以上	33	5.1	100.0
合計	648	100.0	

## 2. 外国籍市民とのつきあい行動

### 1) 外国籍市民の割合・人権施策基本方針の認知

本章では、米原市民が日本に住む外国人の方々とどの程度のつきあいがあるのか、そのつきあい方には国籍による違いがあるのか、また日常生活におけるどのような場面で外国人と接する機会があるのかなど、外国籍市民とのつきあい行動について検討する。

ここではまず、米原市における外国籍市民の割合および市の人権施策基本方針に関する認知度を見てみよう。米原市では、市民のうち58人に1人は外国籍市民となっている。このことをどの程度の人が認知しているのかを尋ねたところ、91.6%が「知らなかった」と回答した(表 2-1)。また、米原市人権施策基本方針には外国人の人権に関する記載があるが、これについても同様に認知度を調べた。その結果、88.8%が「知らなかった」と答えている(表 2-2)。

表 2-1：米原市民 58 人に 1 人は外国籍市民であることへの認知

	度数	有効パーセント	累積パーセント
知っていた	58	8.4	8.4
知らなかった	634	91.6	100.0
合計	692	100.0	

表 2-2：「人権施策基本方針」に外国人の人権に関する記載への認知

	度数	有効パーセント	累積パーセント
知っていた	77	11.2	11.2
知らなかった	610	88.8	100.0
合計	687	100.0	

いずれについても 9 割前後の人が「知らなかった」と回答しており、認知度は低い。またこの認知度の高低には、居住地域や居住年数による違いは見られなかったが、年代による違いが見られた。

外国籍市民の割合についても、外国人の人権に関する記載についても、高年層ほど認知度が高く、年代が下がるにつれて「知らなかった」と答える人が多くなっている。特に、20～30 代は外国籍市民の割合については 5% 未満、人権施策基本方針に関しては 1% 強しか認知しておらず、その認知度はきわめて低いと言える（表 2-3、2-4）。

表 2-3：年代と外国籍市民の割合認知のクロス表

	知っていた	知らなかった	合計(人)
20～30 代	4.7	95.3	149
40～50 代	6.6	93.4	226
60 代以上	11.4	88.6	317
合計	8.4	91.6	692

$$\chi^2 = 7.182^*, \text{d.f.} = 2, V = .102$$

$\chi^2$  はカイ二乗値、V は Cramer's V 係数、\*\*は 1% 水準、\*は 5% 水準で有意な値を示す。

以下も同様。

表 2-4：年代と人権施策基本方針への外国人の人権に関する記載認知のクロス表

	知っていた	知らなかった	合計(人)
20～30 代	1.4	98.6	148
40～50 代	8.8	91.2	227
60 代以上	17.6	82.4	312
合計	11.2	88.8	687

$$\chi^2 = 28.682^{**}, \text{d.f.} = 2, V = .204$$

## 2) 外国籍市民とのつきあい

次に、外国人とのつきあいの有無や、そのつきあいが国籍・地域別に違いがあるのかという点について検討する。まず国籍や地域にかかわらず、外国人とのつきあいがあるかどうかについて尋ねたところ、約4割の人はつきあいがあると答えている。

国籍・地域別に見ると、つきあいがあるという回答が最も多いのはブラジル・ペルーなど南米人であり、次いで中国人となっている。それぞれ13.1%、11.4%の人が「あいさつや言葉を交わす」などのつきあいがあるという。割合としては低くなっているが、アメリカ人、韓国・朝鮮人、それ以外のアジア人がそれに続いている（表2-5）。

つまり、どの国の人ともつきあいのない人が6割近くにのぼり、ブラジル・ペルーおよび中国人については9割近く、その他に関しては9割以上の人がつきあいはないということであり、外国籍市民とのつきあいの低調さがうかがえる。

表 2-5：外国人とのつきあいがある人の度数と割合

	つきあいがある	つきあいはない	合計(人)
外国人とのつきあい	43.4	56.6	671
ブラジル・ペルーなど南米人	13.1	86.9	673
中国人	11.4	88.6	674
アメリカ人	6.1	93.9	675
韓国・朝鮮人	5.8	94.2	675
それ以外のアジアからの外国人	5.3	94.7	675
その他の外国人	4.7	95.3	675

また、外国人とのつきあいに関して、どのような人につきあいが多く、また少ないのかを検討した。その結果、弱い関連ではあるものの、性別によって外国人とのつきあいに違いが見られた。「あいさつや言葉を交わす」といった、つきあいがあると答える男性が38.4%だったのに対して、女性では47.1%が外国人とのつきあいがあった（表2-6）。

ただし、国籍・地域別に見た場合は、男女で明確な違いは認められなかった。もともと外国人とのつきあいのある人が少数であるために、個別の地域ごとに見た場合には、統計上意味のある違いがあらわれなかったのだと考えられる。

米原、近江、山東、伊吹という4つの居住地域別に検討すると、「韓国・朝鮮人」とのつきあいに関してのみ違いがあった。「韓国・朝鮮人」とのつきあいについて地域別に見ると、つきあいがあると答える人の割合が多い順に、米原、山東、近江、伊吹となっている。つきあいがあるという回答は、米原地域で8.8%、山東地域では6.2%となっているが、伊吹地域ではわずかに1%を上回る程度となっている（表2-7）。

年代別では、「ブラジル・ペルーなど南米人」とのつきあいに関して、意味のある違いが見られた。「ブラジル・ペルーなど南米人」とつきあいがあると答える人は、60代以上では1割に満たないが、40～50代では15.2%となり、20～30代では17.9%にのぼっている（表2-8）。

また、より詳細に見ることで、米原市全域でこのような傾向がある訳ではないというこ

とが明らかになった。年代とブラジル・ペルーなど南米人とのつきあいのクロス表に、居住地域を加えた三重クロス表を見ると、上述したような傾向が見られるのは、近江地域のみであることが分かる。近江地域の60代以上の人のうち、ブラジル・ペルー等の人とつきあいがあるのは1割に満たないが、20～30代では3割を上回っている（表2-9）。

一方、他の国籍・地域の外国人については年代との関連が認められなかった。このような違いが見られた理由としては、ニューカマーの国籍・地域別の割合に違いがあることと、彼らが居住する地域にもかたよりのあるということが挙げられるだろう。

ここまで見てきたように、外国人とのつきあいは全体として低調なものにとどまっている。また、性別や居住地域、年代、そして在日外国人の出身の国籍や地域により、そのつきあいのあり方に違いがあることが明らかになった。

表 2-6：性別と「外国人とのつきあい」のクロス表

	つきあいがある	つきあいはない	合計
男性	38.4	61.6	294
女性	47.1	52.9	363
合計	43.2	56.8	657

$$\chi^2=4.978*, \text{d.f.}=1, V=.087$$

表 2-7：居住地域と「韓国・朝鮮人とのつきあい」のクロス表

	つきあいがある	つきあいはない	合計
米原	8.8	91.2	216
近江	4.0	96.0	151
山東	6.2	93.8	211
伊吹	1.1	98.9	95
合計	5.8	94.2	673

$$\chi^2=8.447*, \text{d.f.}=3, V=.112$$

表 2-8：年代と「ブラジル・ペルーなど南米人とのつきあい」のクロス表

	つきあいがある	つきあいはない	合計
20～30代	17.9	82.1	145
40～50代	15.2	84.8	224
60代以上	9.2	90.8	304
合計	13.1	86.9	673

$$\chi^2=7.875*, \text{d.f.}=2, V=.108$$

表 2-9：地域・年代・「南米人とのつきあい」の三重クロス表

		つきあいがある	つきあいはない	合計
米原 ( $\chi^2=1.341$ 、d.f. =2、 $V=.079$ )	20～30代	9.60%	90.40%	52
	40～50代	11.60%	88.40%	69
	60代以上	6.50%	93.50%	96
近江** ( $\chi^2=11.889$ 、d.f. =3、 $V=.281$ )	20～30代	33.30%	66.70%	42
	40～50代	10.90%	89.10%	46
	60代以上	9.50%	90.50%	63
山東 ( $\chi^2=3.282$ 、d.f. =3、 $V=.125$ )	20～30代	12.10%	87.90%	33
	40～50代	22.50%	77.50%	71
	60代以上	13.10%	86.90%	107
伊吹 ( $\chi^2=2.411$ 、d.f. =3、 $V=.159$ )	20～30代	17.60%	82.40%	17
	40～50代	10.80%	89.20%	37
	60代以上	4.90%	95.10%	41

### 3) 日常生活における外国籍市民との接触

ここまで見てきたように、在日外国人とのつきあいは、おおむね低調なものとなっていた。そこで、次に日常生活のどのような場面において外国人と接する機会があるのか、あるいは接触する機会それ自体がないのかを検討する。日常生活における出会いや接する機会は、つきあいが始まる契機になる可能性があるという点で、重要である。

「あなたは日常生活の次のような場面で外国人と接する機会がありますか」という問いに対して、「ほとんど見かけることはない」と答えたのは 33.9%であり、7割近くの人が日常のどこかで外国人を見かけてはいるということが分かる。

日常生活での外国人との接触に関して、「はい」という回答が最も多かった質問は「生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくある」である。53.4%の人が生活の場で外国人と顔を合わせている。

しかし、その一方で「一緒に働いたことがある」という人は3割近くという低い割合にとどまっている。また、「学校で一緒に勉強したことがある」「友人としてつきあっている／つきあっていた」「自分または家族や親せきが、日本に住んでいる外国人と結婚している」という問いに対しては、「いいえ」という回答が圧倒的に多くなっている。

現状は、7割以上の人と一緒に働いた経験を持たず、9割弱の人が、学校で一緒になったり、友人としてつきあったりしたことはないという状況である（表 2-10）。

表 2-10：日常生活における外国人との接触

	はい	いいえ	合計
ほとんど見かけることはない	33.9	66.1	561
生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくある	53.4	46.6	610
学校で一緒に勉強したことがある	12.5	87.5	550
一緒に働いたことがある	29.5	70.5	580
友人としてつきあっている／つきあっていた	12.3	87.7	551
自分または家族や親せきが、日本に住んでいる外国人と結婚している	7.9	92.1	554

こういった日常生活で外国人と接する機会について、属性別に検討したところ、いくつかのことが明らかになった。

まず、日常生活における接触に関しては、性別による違いが見られなかった。表 2-6 で見たように、女性は男性に比べて「あいさつや言葉を交わす」といった外国人とのつきあいがあつた。そのことと合わせて考えると、日常生活において外国人と接する機会自体は男女で違いがないなか、女性たちは比較的「あいさつや言葉を交わす」といった日頃のつきあい行動につながっているということが分かる。一方、男性は日常生活において外国人と接する機会があつたとしても、そこからつきあい行動につながることは少ないと言える。

また、日常での外国人との接触に関しては、居住地域と「ほとんど見かけることはない」「生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくある」の2項目との間には有意な関連が認められた。米原地域では、日常生活で外国人を見かけることはほとんどないという人が 45.6%にのぼっている。それに対して、近江地域、伊吹地域では3割程度、山東地域では 25.3%になっている（表 2-11）。

同じように、「生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくある」という人は、山東地域では 63.1%にのぼっており、伊吹、近江地域でもそれぞれ 57.3%、51.4%となっているが、米原市では 42.9%にとどまっている。各地域に居住する在日外国人数によって、日常で接する機会に違いが見られるということがうかがえる（表 2-12）。

表 2-11：居住地域と「ほとんど見かけることはない」のクロス表

	はい	いいえ	合計
米原	45.6	54.4	182
近江	31.3	68.8	128
山東	25.3	74.7	174
伊吹	31.5	68.5	73
合計	34.1	65.9	557

$$\chi^2=17.411**, d.f.=3, V=.177$$

表 2-12：居住地と「生活地域で、外国人と顔を合わせることがよくある」のクロス表

	はい	いいえ	合計
米原	42.9	57.1	184
近江	51.4	48.6	138
山東	63.1	36.9	195
伊吹	57.3	42.7	89
合計	53.5	46.5	606

$$\chi^2=16.194**, d.f.=3, V=.163$$

日常生活において、外国人と顔を合わせるか否かについては、居住地による違いが見られた。一方、「学校で一緒に勉強したことがある」「一緒に働いたことがある」「友人としてつきあっている／つきあっていた」「自分または家族や親せきが、日本に住んでいる外国人と結婚している」の4項目に関しては、地域による違いが見られなかった。

「一緒に働いたことがある」という人は3割近くいたものの、他の3項目については1割前後に過ぎなかった。つまり、日常生活において外国籍市民を「見かける」機会は少なくないが、「関わる」機会はきわめて少ない。また、その「関わる」機会にはおおむね地域による差異もなかった。

比較的、日常生活で外国人と顔を合わせることが多い山東地域の人々にとっても、ただ「同じ場所・地域にいる」のみで、顔をあわせることはあっても、つきあいや交流につながることは少ない。現状は、同じ容器に入っている、混ざり合うことがほとんどない状況であると言える。

すでに見たように、「友人としてつきあっている／つきあっていた」という人は12.3%、「自分または家族や親せきが、日本に住んでいる外国人と結婚している」という人は7.9%に過ぎなかった。

学校や職場における分離が維持されているため、それよりも踏み込んだ関係—友人関係や恋愛関係—につながりにくいことがうかがえる。この点については、住民たちの意識の問題というよりは、同じ地域のなかで混ざり合いやすくするような政策の不備が問題になっていると考えられる。

### 3. 外国籍市民への親しみ意識と抵抗感

#### 1) 外国人についての考え方

本章では、外国籍市民への考え方や意見について検討する。まず、「ここ10年、在日外国人の数が急激に増加していると言われますが、外国人に対する次の意見について、あなたはどう思いますか。それぞれ一つずつ選んで下さい」という質問に対する回答、いわば外国人観と言えるものについて考察した。

その結果、17項目中8項目に関しては過半数が「そう思う」もしくは「どちらかといえば、そう思う」と回答していた(表 3-1)。特に、「日本に住んでいる外国人は、日本の文化やしきたりを守るべきだ」「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるのは望ましいことだ」「外国人が地域のお祭りなどの行事に参加するのは良いことだ」の3項目につ

いては全体の8割以上、「外国人という理由で大家が入居を断るのは良くないことだ」「地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ」「外国人が町内会や自治会に加わるのは良いことだ」については7割以上が肯定している。

しかし、その一方で、外国人による土地購入や難民の受け入れ、日本への永住、外国人と日本人との結婚など、9項目については過半数が否定的に回答（そう思わない+どちらかといえば、そう思わない）している。

特に、「外国人の公務員を増やすべきだ」「隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ」という項目に関しては8割弱、「日本に外国人が増えるのは好ましいことだ」「職場の同僚に外国人が増えることは好ましいことだ」については7割弱が反対意見を持っている。

文化等を知る機会・交流が増えること、地域の祭り・町内会等に参加することに対しては、多くの人が肯定的に受け止めていることや、「外国人という理由で大家が入居を断ることは良くないことだ」という問いに対して多くの人が肯定的であるように、理想論としては、外国人との「多文化共生」を肯定している。

しかし、それは、「外国人が日本の文化やしきたりを守るべき」「町内会や自治会に加わることは良いことだ」という2項目への肯定が強いことから分かるように、あくまで「郷に入れば郷に従え」が前提となっていることがうかがえる。

また、公務員や職場の同僚としての外国人が増えることについては、強い抵抗感があった。このことから、増加する外国人によって、自分たちの就業や生活が脅かされるかも知れないという不安を抱えているのだと考えられる。「日本に外国人が増える」ことや「隣近所に外国人が増える」ことに対する否定的反応の強さもまた、同様の傾向を反映しているのではないだろうか。

つまり、現在の米原市にとって重要なことは、劣悪な就業・生活環境におかれている在日外国人に対する積極的な施策を進めていくと同時に、日本人の雇用や生活を守り、その不安を取り除くことである。



表 3-1：外国人に対する次の意見についての考え方

	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない	合計
日本に住んでいる外国人は、日本の文化やしきたりを守るべきだ	44.5	42.5	8.9	4.1	676
外国人という理由で大家が入居を断るのは良くないことだ	34.7	40.2	18.2	6.9	666
外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるのは望ましいことだ	33.1	48.9	12.9	5.1	667
外国人が地域のお祭りなどの行事に参加するのは良いことだ	32.1	52.3	10.9	4.6	669
地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ	27.3	50.8	15.7	6.2	662
外国人が町内会や自治会に加わるのは良いことだ	24.1	52.2	18.8	5.0	665
考え方の違う外国人を日本社会に受け入れることはむずかしい	23.3	41.4	27.3	8.0	664
外国人もPTAなどの役員にどんどんなってゆくべきだ	19.1	44.3	27.9	8.7	664
外国人による日本の土地購入は良くないことだ	12.4	27.9	37.5	22.2	662
外国人と日本人の結婚が増えるのは良いことだ	10.4	36.8	39.0	13.9	657
政治的な迫害で難民となった外国人を積極的に受け入れた方が良い	9.9	33.0	41.0	16.1	658
多くの外国人が日本に永住することは良いことだ	9.2	31.1	43.6	16.1	652
外国人が多く入って来ることは、日本経済の発展につながる	9.1	31.1	42.0	17.8	662
日本に外国人が増えるのは好ましいことだ	5.9	24.8	48.9	20.4	657
職場の同僚に外国人が増えることは好ましいことだ	5.0	27.8	50.5	16.7	634
外国人の公務員を増やすべきだ	3.0	18.0	48.7	30.3	661
隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ	2.6	20.5	51.3	25.6	665

それでは、こういった外国人観について、どういった人が肯定的に捉えており、また否定的に受け止めているのだろうか。居住地域別に見ると、「日本に外国人が増えるのは好ましいことだ」「隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ」という2項目について、意味のある違いがあった。いずれの項目についても、米原地域においては「そう思う」と答える割合が他地域に比べて高くなっており、逆に山東地域、伊吹地域では否定的な回答が目立っている（表3-2）。

このような傾向があらわれる背景として、次のような可能性が考えられる。たとえば、居住者の年代や学歴、収入が地域によって大きく異なり、そういった調査対象者の属性が外国人観に影響を与えているかも知れない。そこで、居住地域と年代や学歴、収入のクロス集計をおこなった。しかし、いずれも有意な結果は得られず、地域によって以上の属性に違いがあるとは言えないということが明らかになった。

したがって、居住地域によって外国人観がこのように異なる理由は、そこに住む人々の属性の問題というよりは、むしろその地域が持っている特性によるものだと考えられるのである。具体的には、その地域に居住する外国人数によって、外国人観が異なっていると言えるのではないだろうか。

すでに見たように、山東、伊吹地域では「生活地域で、外国人と顔を合わせるがよくある」という問いに6割前後が「はい」と答えていた。しかし、それにもかかわらず「あいさつや言葉を交わす」といったつきあい行動はどの地域においても低調なものとなっていた。

つまり、山東、伊吹地域の人たちにとっては、あいさつを交わすこともない、いわば「得体の知れない」外国人が、地域にたくさん住んでいる状況だと言える。こういった状況が、山東、伊吹地域の人々に、日本や隣近所に外国人が増えることを否定的に受け止めさせているのではないだろうか。

この結果は、現時点では山東、伊吹地域に比べて、外国人が増えることに肯定的な米原、近江地域の人々も、実際に外国人が増加した際にはその考え方が否定的なものに変わっていく可能性があることを示唆している。

そういった状況を生み出さないために、また山東、伊吹地域の人々が外国人の増加を肯定的に受け止められるようになるためには、外国人と日本人がただ同じ地域に居住しているだけでなく、積極的に交流し、つきあい行動を広げられるような事業、施策が必要であると考えられる。

表 3-2：居住地域と外国人観のクロス表

		そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない	合計
日本に外国人が増えるのは好ましいことだ* ( $\chi^2=20.165$ 、d.f.=9、 V=.101)	米原	9.4	29.6	45.3	15.8	203
	近江	6.3	25.2	53.1	15.4	143
	山東	2.9	22.5	48.8	25.8	209
	伊吹	5.1	19.4	50.0	25.5	98
隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ* ( $\chi^2=17.507$ 、d.f.=9、 V=.095)	米原	5.5	23.1	49.2	22.1	199
	近江	0.0	19.4	57.6	22.9	144
	山東	2.4	20.7	49.0	27.9	208
	伊吹	1.0	17.0	50.0	32.0	100

属性変数のうち、居住地域よりも外国人観と明確な関連が認められたのは、年代である。年代については、外国人観として尋ねた 17 項目すべてについて、1%水準で有意な関連が認められた（表 3-3）。

ここでは、関連の強さを示す Cramer's V 係数が.150 を上回る項目について、特に見ていくこととする。年代と最も強い関連が認められたのは、「外国人という理由で大家が入居を断るのは良くないことだ」「外国人も PTA などの役員にどんどんなってゆくべきだ」の 2 項目である。前者に関して、20～30 代の若年層は過半数が「そう思う」と答えているのに対して、60 代以上の高年層で肯定的に回答しているのは 3 割に満たない。また、11.4% は外国人が入居を拒絶されることを良くないことだとは考えていない。

後者については、若年層の 8 割近くが肯定的（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）に回答しているが、高年層では過半数に満たない。高年層の半分以上が、外国人が PTA などの役員になることに反対していることが分かる。

その他の項目についても、傾向は同様である。高年層は「外国人と日本人の結婚が増えるのは良いことだ」とは考えておらず、「地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ」「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるのは望ましいことだ」といった意見も、若年層に比べると肯定的には受け止めていない。

また「そう思わない」という回答の割合が、若年層と高年層の差が特に開いているのは、「外国人の公務員を増やすべきだ」「日本に外国人が増えるのは好ましいことだ」の 2 項目である。「外国人の公務員を増やすべきだ」という意見に対して、高年層の 4 割以上が「そう思わない」と考えている一方、若年層では 15.5%にとどまっている。

「日本に外国人が増えるのは好ましいことだ」について「そう思わない」と回答しているのは、若年層で 8.1%、高年層では 27.3%となっている。以上のように、年代と外国人観には明確に関連しており、高年層は若年層に比べて、外国人に対して非常に否定的な考えを持っていることが分かった。この傾向は、表 3-3 に掲載したすべての項目で一貫している。

表 3-3：年代と外国人観のクロス表

		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	合計
日本に外国人が増えるのは好ましいことだ** ( $\chi^2=31.444$ , df.=6, V=.155)	20～30代	10.1	31.1	50.7	8.1	148
	40～50代	5.5	28.2	46.8	19.5	220
	60代以上	4.2	19.0	49.5	27.3	289
外国人による日本の土地購入は良くないことだ** ( $\chi^2=28.444$ , df.=6, V=.147)	20～30代	5.4	24.2	40.9	29.5	149
	40～50代	8.4	30.7	41.3	19.6	225
	60代以上	19.1	27.8	32.6	20.5	288
政治的な迫害で難民となった外国人を積極的に受け入れた方が良い** ( $\chi^2=17.885$ , df.=6, V=.117)	20～30代	8.1	42.6	39.9	9.5	148
	40～50代	10.7	32.4	43.6	13.3	225
	60代以上	10.2	28.4	39.6	21.8	285
外国人と日本人の結婚が増えるのは良いことだ** ( $\chi^2=47.626$ , df.=6, V=.190)	20～30代	21.8	40.1	32.7	5.4	147
	40～50代	5.8	42.6	39.9	11.7	223
	60代以上	8.0	30.7	41.5	19.9	287
外国人という理由で大家が入居を断るの は良くないことだ** ( $\chi^2=48.940$ , df.=6, V=.192)	20～30代	51.0	35.6	9.4	4.0	149
	40～50代	31.7	48.9	16.3	3.1	227
	60代以上	28.6	35.9	24.1	11.4	290
外国人が多く入って来ることは、日本経済の発展につながる** ( $\chi^2=16.992$ , df.=6, V=.113)	20～30代	9.6	41.8	36.3	12.3	146
	40～50代	8.0	28.1	48.2	15.6	224
	60代以上	9.6	28.1	40.1	22.3	292
多くの外国人が日本に永住することは良いことだ** ( $\chi^2=20.459$ , df.=6, V=.125)	20～30代	14.3	35.4	40.8	9.5	147
	40～50代	5.9	34.1	46.4	13.6	220
	60代以上	9.1	26.7	42.8	21.4	285
考え方の違う外国人を日本社会に受け入れることはむずかしい** ( $\chi^2=21.065$ , df.=6, V=.126)	20～30代	14.8	42.3	36.2	6.7	149
	40～50代	20.5	45.5	27.2	6.7	224
	60代以上	29.9	37.8	22.7	9.6	291

隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ** ( $\chi^2=20.390$ , df.=6, V=.125)	20～30代	3.4	23.1	54.4	19.0	147
	40～50代	2.7	24.2	53.8	19.3	223
	60代以上	2.1	16.1	47.7	34.0	285
職場の同僚に外国人が増えることは好ましいことだ** ( $\chi^2=23.780$ , df.=6, V=.137)	20～30代	8.1	32.4	52.0	7.4	148
	40～50代	2.3	30.4	51.6	15.7	217
	60代以上	5.6	23.0	48.7	22.7	269
日本に住んでいる外国人は、日本の文化やしきたりを守るべきだ** ( $\chi^2=17.799$ , df.=6, V=.115)	20～30代	34.9	47.7	12.1	5.4	149
	40～50代	40.8	46.9	9.6	2.6	228
	60代以上	52.2	36.5	6.7	4.7	299
外国人の公務員を増やすべきだ** ( $\chi^2=34.982$ , df.=6, V=.163)	20～30代	4.7	24.3	55.4	15.5	148
	40～50代	2.7	19.6	51.6	26.2	225
	60代以上	2.4	13.5	43.1	41.0	288
外国人が町内会や自治会に加わるのは良いことだ** ( $\chi^2=27.908$ , df.=6, V=.145)	20～30代	30.9	55.7	10.7	2.7	148
	40～50代	25.8	55.1	16.4	2.7	225
	60代以上	19.2	48.1	24.7	7.9	291
外国人が地域のお祭りなどの行事に参加するのは良いことだ** ( $\chi^2=25.741$ , df.=6, V=.139)	20～30代	42.3	51.0	6.0	0.7	149
	40～50代	31.0	54.0	12.4	2.7	226
	60代以上	27.9	51.7	12.2	8.2	294
外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるのは望ましいことだ** ( $\chi^2=40.571$ , df.=6, V=.174)	20～30代	45.6	49.7	4.0	0.7	149
	40～50代	31.7	52.9	11.9	3.5	227
	60代以上	27.8	45.4	18.2	8.6	291
地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ** ( $\chi^2=41.389$ , df.=6, V=.177)	20～30代	42.9	47.6	7.5	2.0	147
	40～50代	25.6	55.6	14.3	4.5	223
	60代以上	20.9	48.6	20.9	9.6	292
外国人もPTAなどの役員にどんどんなつてゆくべきだ** ( $\chi^2=49.080$ , df.=6, V=.192)	20～30代	23.5	55.7	16.8	4.0	149
	40～50代	22.9	48.0	24.2	4.9	223
	60代以上	14.0	35.6	36.3	14.0	292

他にも、性別と外国人観について「外国人による日本の土地購入は良くないことだ」「政治的な迫害で難民となった外国人を積極的に受け入れた方が良い」「日本に住んでいる外国人は、日本の文化やしきたりを守るべきだ」の3項目で有意な関連が認められた。いずれも、男性は「そう思う」と答える割合が高くなっており、女性に比べると、在日外国人は日本のルールを守るべきであり、土地購入は良くないことであるが、難民を受け入れる必要はあると考えている。

また、こういった外国人に対する意識・考え方は、私的な領域の捉え方と関連している可能性があるため、結婚観と外国人観の関係を検討する。まず、結婚観に関する項目のうち、「結婚している人の方が、結婚していない人よりだいたいは幸せだ」「結婚のいい点は、経済的に安定することだ」「今日、人々が結婚するのは、主に子どもをつくるためだ」「どんな結婚でも、結婚しないよりはみました」の4項目から、対象者を2つのグループに分けた。

一方はこの4項目について肯定的に答えるグループであり、他方は否定的に考えているグループである。ここでは、結婚している人の方がだいたいは幸せであり、結婚の利点は経済的な安定であるといった考えを持つ前者を伝統的結婚観グループ、後者を非伝統的結婚観グループと名付けておこう<sup>2</sup>。

結婚観と外国人観のクロス集計をおこなったところ、17項目のうち「政治的な迫害で難民となった外国人を積極的に受け入れた方が良い」「考え方の違う外国人を日本社会に受け入れることはむずかしい」「隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ」「職場の同僚に外国人が増えることは好ましいことだ」「外国人の公務員を増やすべきだ」の5項目をのぞく12項目で有意な関連が認められた。

しかし、年代と結婚観には強い関連があり、高年層ほど伝統的結婚観を持つ人が多くなり、若年層ほど非伝統的結婚観を持つことが明らかになった(表3-4)。

表 3-4 : 年代と結婚観のクロス表

	伝統的結婚観	非伝統的結婚観	合計
20～30代	37.5	62.5	144
40～50代	53.2	46.8	222
60代以上	66.8	33.2	283
合計	55.6	44.4	649

$$\chi^2 = 33.992^{**}, \text{d.f.} = 2, V = .229$$

したがって、結婚観と外国人観の関連は、年代が両者に対して影響を与えていることによる擬似相関の可能性がある。そこで、年代を加えた三重クロス集計をおこなった。その結果、結婚観と外国人観に有意な関連が見られたのは、若年層では1項目のみ、中年層で

<sup>2</sup> 4項目を単純加算した4～16の値をとる尺度を作成し、平均値を算出したところ11となった。そこで、得点が11よりも低い人たちを「伝統的結婚観グループ」とし、高い人たちを「非伝統的結婚観グループ」とした。

は3項目、高年層では9項目となっていた。つまり、若年層・中年層では結婚観と外国人観はそれぞれ独立しているが、高年層の場合は特定の結婚観を持つ人が、特定の外国人観を持っているのだと言える。

ここでは、9項目について有意な関連が認められた60代以上の人たちについて見ておこう(表3-5)。「日本に外国人が増えるのは好ましいことだ」「多くの外国人が日本に永住することは良いことだ」「外国人が町内会や自治会に加わるのは良いことだ」「外国人が地域のお祭りなどの行事に参加するのは良いことだ」「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるのは望ましいことだ」「地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ」「外国人もPTAなどの役員にどんどんなってゆくべきだ」といった項目に対して、伝統的結婚観を持つ人たちは、「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」という否定的な回答をする人が多かった。

ここから、高年層の場合、結婚観が伝統的である人は、おおむね外国人観に対して否定的に考えていることが分かる。つまり、従来の結婚観以外を受け入れがたいのと同様に、古くからの日本人のみのコミュニティを守りたいという、いわば異物を排除する意識を持っているのだと考えられる。

一方、非伝統的結婚観を持つ人たちは、「そう思う」という肯定的回答と、「そう思わない」という否定的回答に分かれる傾向が見られた。いわば、旧来の結婚観へのこだわりが薄いグループは、外国人に対しても肯定的・寛容に受け止める人々と、否定的に捉える人たちとに二極化しているのだと考えられる。

表 3-5：結婚観と外国人観のクロス表（60代以上）

		そう思う	どちらかといえ ば、そう思う	どちらかといえ ば、そう思わない	そう思 わない	合計
日本に外国人が増えるのは好ましいことだ* ( $\chi^2=10.667$ 、d.f.=3、 $V=.198$ )	伝統的	2.8	18.9	56.7	21.7	180
	非伝統的	5.5	20.9	37.4	36.3	91
外国人による日本の土地購入は良くないことだ* ( $\chi^2=10.469$ 、d.f.=3、 $V=.197$ )	伝統的	22.2	31.1	32.2	14.4	180
	非伝統的	15.7	22.5	31.5	30.3	89
外国人が多く入って来ることは、日本経済の発展につながる* ( $\chi^2=9.756$ 、d.f.=3、 $V=.189$ )	伝統的	11.0	32.0	41.4	15.5	181
	非伝統的	7.6	25.0	35.9	31.5	92
多くの外国人が日本に永住することは良いことだ* ( $\chi^2=10.469$ 、d.f.=3、 $V=.197$ )	伝統的	8.5	26.0	49.2	16.4	177
	非伝統的	8.8	30.8	30.8	29.7	91
外国人が町内会や自治会に加わるのは良いことだ* ( $\chi^2=12.500$ 、d.f.=3、 $V=.214$ )	伝統的	13.2	52.7	26.9	7.1	182
	非伝統的	30.0	43.3	17.8	8.9	90
外国人が地域のお祭りなどの行事に参加するのは良いことだ* ( $\chi^2=10.785$ 、d.f.=3、 $V=.199$ )	伝統的	22.0	58.2	13.2	6.6	182
	非伝統的	38.5	44.0	7.7	9.9	91
外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるのは望ましいことだ* ( $\chi^2=8.668$ 、d.f.=3、 $V=.179$ )	伝統的	23.8	48.1	21.5	6.6	181
	非伝統的	35.2	40.7	12.1	12.1	91
地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ** ( $\chi^2=13.135$ 、d.f.=3、 $V=.220$ )	伝統的	17.6	51.1	25.3	6.0	182
	非伝統的	25.8	46.1	12.4	15.7	89
外国人もPTAなどの役員にどんどんなってゆくべきだ* ( $\chi^2=8.268$ 、d.f.=3、 $V=.174$ )	伝統的	11.0	35.4	42.0	11.6	181
	非伝統的	18.7	37.4	26.4	17.6	91



## 2) 在日外国人との接触における抵抗感

ここでは、在日外国人と接する上で、どのようなことに抵抗感が強いのか、またその背景について検討していく。本調査では「自分の子どもと結婚すること」「職場の上司になること」「隣近所に住んでいること」という3項目について尋ねている。

単純集計の結果は、「在日外国人と自分の子どもが結婚すること」に抵抗感を持つ人が最も多く、全体の46.2%が抵抗を感じていた（少し抵抗がある+抵抗がある）。職場の上司になること、隣近所に住んでいることに対しても、約3割程度の人が抵抗感を持っていることが分かった（表3-6）。

表 3-6：在日外国人に対する抵抗感

	まったく抵抗はない	あまり抵抗はない	どちらともいえない	少し抵抗がある	抵抗がある	合計(人)
在日外国人と自分の子どもが結婚すること	5.7	20.3	27.8	25.4	20.8	665
在日外国人が自分の職場の上司になること	7.8	27.8	33.5	18.6	12.2	665
自分の隣近所に住んでいること	9.0	33.0	30.3	21.0	6.6	666

また、どういった人が抵抗感を持ち、あるいは持たないのかを検討した結果、性別や居住地、米原市内での居住年数による違いは見られなかった。しかし、ここでもやはり年代による違いが見られた。抵抗感に関しては、「在日外国人が自分の職場の上司になること」「在日外国人と自分の子どもが結婚すること」という2項目に関して有意な関連があった。

「在日外国人が自分の職場の上司になること」については、若年層の23.8%が抵抗感を持っているのに対して、高年層では36.0%にのぼっている。また、「在日外国人と自分の子どもが結婚すること」に抵抗感を示す若年層は37.0%であるのに対して、高年層では52.9%と過半数を超えている。高齢者にとって、自分の子どもが日本人以外の人と結婚することは、受け入れ難いこととなっていることがよく分かる（表3-7）。

次に、第3章で検討した外国人とのつきあいや接する機会の有無と、抵抗感についてクロス集計をおこなった。まず、外国人とのつきあいがあるか否かによって、在日外国人に対する抵抗感に違いがあることが分かった。

外国人とつきあいのある人の過半数は、在日外国人が「隣近所に住んでいること」に抵抗感はない（まったく抵抗感はない+あまり抵抗感はない）と答えている。しかし、つきあいのない人で抵抗感がないのは4割弱にとどまり、3割以上は抵抗がある（抵抗がある+少し抵抗がある）と回答した。外国人が「自分の子どもと結婚すること」に関しては、つきあいのない人の過半数が抵抗感を持っていた（表3-8）。また、地域で外国人と顔を合わせる機会のある人や、一緒に働いた経験を持つ人は、そうでない人たちよりも外国人

に対する抵抗感が少ない（表 3-9、3-10）。

学校で一緒に勉強した経験の有無も、外国人に対する抵抗感に影響を与えている。一緒に勉強したことのある人たちは、「職場の上司になること」「隣近所に住んでいること」のいずれに対しても過半数が抵抗感を持っていない。特に後者については6割近くの人が抵抗はないと答えている。一方、そういった経験を持たない人では3割前後の人が抵抗感を感じている（表 3-11）。

ここで特に注目しているのは、友人としてつきあった経験の有無である。友人としてつきあった経験のある人のうち7割は、在日外国人が「隣近所に住んでいること」に抵抗はないと答えており、「自分の子どもと結婚すること」「職場の上司になること」についても過半数が抵抗感を持っていない。外国人との友人関係があり、「職場の上司になること」「隣近所に住んでいること」に「抵抗がある」と回答した人は1.5%にとどまっている。ここから、外国人とのつきあいや接触の有無が、外国人に対する意識に強い影響を与えていることがうかがえる（表 3-12）。

表 3-7：年代と在日外国人に対する抵抗感のクロス表

		まったく抵抗 はない	あまり抵抗 はない	どちらとも いえない	少し抵抗が ある	抵抗がある	合計
在日外国人が自分の職場の上司になること** ( $\chi^2=28.217$ 、d.f.=8、 $V=.146$ )	20～30代	11.6	38.1	26.5	14.3	9.5	147
	40～50代	8.0	31.9	31.4	17.3	11.5	226
	60代以上	5.8	19.5	38.7	21.9	14.0	292
在日外国人と自分の子どもが結婚すること** ( $\chi^2=20.510$ 、d.f.=8、 $V=.124$ )	20～30代	8.9	26.7	27.4	19.9	17.1	146
	40～50代	5.8	22.1	28.8	27.4	15.9	226
	60代以上	4.1	15.7	27.3	26.6	26.3	293

表 3-8：外国人とのつきあいの有無と在日外国人に対する抵抗感のクロス表

		まったく抵抗 はない	あまり抵抗 はない	どちらとも いえない	少し抵抗 がある	抵抗があ る	合計
自分の隣近所に住んでいること** ( $\chi^2=14.136$ 、d.f.=4、 $V=.149$ )	つきあいがある	12.1	38.1	27.5	16.8	5.5	273
	つきあいはない	6.6	29.8	38.1	23.0	7.7	366
在日外国人と自分の子どもが結婚すること** ( $\chi^2=14.305$ 、d.f.=4、 $V=.150$ )	つきあいがある	8.1	23.0	31.5	21.1	16.3	270
	つきあいはない	4.1	18.5	26.1	28.3	23.1	368

表 3-9：地域で外国人と顔を合わせるかどうかと在日外国人に対する抵抗感のクロス表

		まったく抵抗 はない	あまり抵抗 はない	どちらとも いえない	少し抵抗 がある	抵抗があ る	合計
在日外国人が自分の職場の上司になること** ( $\chi^2=15.818$ 、d.f.=4、 $V=.164$ )	地域で顔を合わせる	10.1	32.2	30.0	17.4	10.4	317
	地域で顔を合わせない	5.1	22.4	40.1	18.0	14.3	272

表 3-10：一緒に働いた経験があるかどうかと在日外国人に対する抵抗感のクロス表

		まったく抵抗 はない	あまり抵抗 はない	どちらとも いえない	少し抵抗 がある	抵抗があ る	合計
在日外国人が自分の職場の上司になること** ( $\chi^2=17.974$ 、d.f.=4、 $V=.179$ )	一緒に働いた	10.8	36.1	26.5	17.5	9.0	166
	一緒に働いたことはない	5.3	23.9	38.1	19.5	13.2	394

表 3-11：学校で一緒に勉強した経験があるかどうかと在日外国人に対する抵抗感のクロス表

		まったく抵抗 はない	あまり抵抗 はない	どちらとも いえない	少し抵抗 がある	抵抗があ る	合計
在日外国人が自分の職場の上司になること** ( $\chi^2=13.397$ 、d.f.=4、 $V=.159$ )	学校で一緒に勉強した	8.7	43.5	26.1	17.4	4.3	69
	学校で一緒に勉強していない	6.5	25.2	37.1	18.5	12.7	464
自分の隣近所に住んでいること** ( $\chi^2=12.528$ 、d.f.=4、 $V=.153$ )	学校で一緒に勉強した	17.4	40.6	21.7	15.9	4.3	69
	学校で一緒に勉強していない	6.9	33.2	32.3	20.0	7.5	464

表 3-12 : 友人としてつきあった経験があるかどうかと在日外国人に対する抵抗感のクロス表

		まったく抵抗 はない	あまり抵抗 はない	どちらとも いえない	少し抵抗 がある	抵抗があ る	合計
在日外国人が自分の職場の上司になること** ( $\chi^2=30.472$ 、d.f.=4、 $V=.239$ )	友人としてつきあった	19.7	37.9	22.7	18.2	1.5	66
	つきあっていない	5.1	26.1	36.8	18.8	13.1	467
自分の隣近所に住んでいること** ( $\chi^2=34.103$ 、d.f.=4、 $V=.253$ )	友人としてつきあった	21.2	50.0	16.7	10.6	1.5	66
	つきあっていない	6.0	31.9	32.5	21.6	7.9	467
在日外国人と自分の子どもが結婚すること** ( $\chi^2=36.228$ 、d.f.=4、 $V=.261$ )	友人としてつきあった	16.7	36.4	21.2	19.7	6.1	66
	つきあっていない	4.1	18.2	27.4	25.7	24.6	467

### 3) 外国籍市民に対する親しみの意識

ここでは、外国人に対する親しみの意識について検討する。どの国の人々にどの程度の親しみを持っているのかということの前に、まず、「外国人」と聞いて最初に浮かぶのはどの国の人たちになるのかを見てみよう。その結果、最も多いのはブラジル人と答えた39.1%で、アメリカ人の35.0%がそれに続いている。以降は割合的にはかなり小さくなり、中国人、韓国・朝鮮人、フィリピン人という順になっている（表3-13）。

また、どこの国の人を最初に思い浮かべるかということは、居住地域および年代によって違いが見られた。近江地域の方は、過半数がアメリカ人を挙げているが、他地域では半数以上の人に挙げられる国籍はない。ただし、山東地域および伊吹地域ではブラジル人を挙げている人が最も多く、5割近くを占めている（表3-14）。

年代に関しては、どの国の人を思い浮かべるのかという傾向が大きく異なっている。若年層および中年層にはアメリカ人、ブラジル人を挙げる人が多くなっている。その一方、高年層は弱・中年層に比べて、中国人、韓国・朝鮮人、フィリピン人を挙げる傾向が強い。「外国人」と一括りにされることが多いが、世代によって関わる外国人の国籍に違いがあるということが示唆されている（表3-15）。

表 3-13 : 「外国人」と聞いて最初に思い浮かぶ国の人

	度数	有効パーセント	累積パーセント
アメリカ人	228	35.0	35.0
ブラジル人	255	39.1	74.1
中国人	65	10.0	84.0
韓国・朝鮮人	58	8.9	92.9
フィリピン人	33	5.1	98.0
その他	13	2.0	100
合計	652	100	

表 3-14 : 居住地域と最初に思い浮かぶ国の人々のクロス表

	アメリカ人	ブラジル人	中国人	韓国・朝鮮人	フィリピン人	その他	合計
米原	36.8	33.3	12.4	9.5	5.0	3.0	201
近江	51.4	28.6	5.7	9.3	4.3	0.7	140
山東	27.4	46.7	9.4	8.5	6.6	1.4	212
伊吹	25.3	48.4	11.6	8.4	3.2	3.2	95
合計	35.2	38.9	9.9	9.0	5.1	2.0	648

$\chi^2 = 37.192^{**}$ 、d.f. = 15、V = .138

表 3-15 : 年代と最初に思い浮かぶ国の人のクロス表

	アメリカ人	ブラジル人	中国人	韓国・朝鮮人	フィリピン人	その他	合計
20～30代	41.4	42.8	8.3	3.4	1.4	2.8	145
40～50代	36.4	47.0	7.4	2.8	5.1	1.4	217
60代以上	30.7	31.4	12.8	16.2	6.9	2.1	290
合計	35.0	39.1	10.0	8.9	5.1	2.0	652

$\chi^2=53.966^{**}$ 、d.f.=10、V=.203

次に、在日外国人の国籍によって、親しみの意識がどのように違っているのかを検討する。本調査ではアメリカ人、ブラジル人、中国人、韓国・朝鮮人、フィリピン人の5カ国（地域）の人々に対して、親しみを感じているか否かを4つの選択肢で尋ねている。

5カ国のうち、親しみを感じるという回答（とても感じる+どちらかといえば、感じる）が過半数を占めたのはアメリカ人のみだった。他の地域については親しみを感じない（まったく感じない+どちらかといえば、感じない）が過半数を占めた上、親しみを「とても感じる」という回答はいずれの地域でも5%未満にとどまった。

親しみを感じないという回答が最も多かったのはフィリピンで、その割合75.6%にのぼる。そこに、70.7%の中国、67.9%の韓国・朝鮮が続く。ブラジルは、外国人と聞いて最初に思い浮かぶ国という項目においてアメリカを上回っていたが、親しみを感じるという回答は35.5%にとどまり、64.5%の人が感じないと答えている（表3-16～3-20）。

表 3-16 : 次のような国の人々への「親しみ」の意識

アメリカ人への親しみ	度数	有効パーセント	累積パーセント
とても感じる	53	8.4	8.4
どちらかといえば、感じる	307	48.4	56.8
どちらかといえば、感じない	192	30.3	87.1
まったく感じない	82	12.9	100.0
合計	634	100.0	

表 3-17 : 次のような国の人々への「親しみ」の意識

ブラジル人への親しみ	度数	有効パーセント	累積パーセント
とても感じる	27	4.3	4.3
どちらかといえば、感じる	197	31.2	35.5
どちらかといえば、感じない	284	45.0	80.5
まったく感じない	123	19.5	100.0
合計	631	100.0	

表 3-18 : 次のような国の人々への「親しみ」の意識

中国人への親しみ	度数	有効パーセント	累積パーセント
とても感じる	16	2.5	2.5
どちらかといえば、感じる	168	26.8	29.3
どちらかといえば、感じない	295	47.0	76.3
まったく感じない	149	23.7	100.0
合計	628	100.0	

表 3-19 : 次のような国の人々への「親しみ」の意識

韓国・朝鮮人への親しみ	度数	有効パーセント	累積パーセント
とても感じる	24	3.8	3.8
どちらかといえば、感じる	179	28.3	32.1
どちらかといえば、感じない	282	44.5	76.6
まったく感じない	148	23.4	100.0
合計	633	100.0	

表 3-20 : 次のような国の人々への「親しみ」の意識

フィリピン人への親しみ	度数	有効パーセント	累積パーセント
とても感じる	13	2.1	2.1
どちらかといえば、感じる	139	22.3	24.4
どちらかといえば、感じない	323	51.8	76.1
まったく感じない	149	23.9	100.0
合計	624	100.0	

#### 4. 外国籍市民のための活動と人権

##### 1) 在日外国人のための活動に対する参加意欲

国内で生活する外国人の増加にともなって、外国人との交流や支援のためのさまざまな活動、人権擁護に関わる施策がより重要になってきている。本章では、米原市民が外国人のための活動や人権に関して、どのような意識を持っているのかについて検討する。

在日外国人のための活動として、本調査では「日本人と外国人が交流するイベント」「多文化共生について学ぶための講演会や学習会」「外国人とコミュニケーションできるようになるための、外国語講座の受講」「外国人を対象とした日本語教室でのボランティア」「外国人のホームステイ受け入れ」「生活に困っている在日外国人のための支援」「通訳や翻訳」という7項目について、「参加したい」から「参加したくない」までの4つの選択肢で尋ねた。

その結果、すべての項目について過半数が参加したくない（参加したくない+どちらかといえば、参加したくない）と回答していることが明らかになった。比較的参加したい（参加したい+どちらかといえば、参加したい）という回答が多かった「日本人と外国人が交



流するイベント」「多文化共生について学ぶための講演会や学習会」についても、参加意欲のあるものは4割強にとどまっていた。

特に否定的な答えが多かったものは、「通訳や翻訳」「外国人のホームステイ受け入れ」「外国人を対象とした日本語教室でのボランティア」の3項目で、それぞれ83.0%、78.7%、72.0%の人が参加したくないと考えていた(表4-1)。ただし、これら3項目については、参加したい、したくないといった意欲の問題というよりは、むしろ能力の問題が大きいと考えられる。

「通訳や翻訳」は言うまでもなく、「外国人のホームステイ受け入れ」「外国人を対象とした日本語教室でのボランティア」に関しても、ポルトガル語や中国語など、語学に堪能であることが求められる。日本語教室はもちろん、外国語教室などを開くことによって、在日外国人と日本人がともに学びながら交流する機会を作ることが重要であると言える。

次に、こういった外国人のための活動について、どのような人で参加意欲が高いのかを検討した。参加意欲は性別や居住地域、米原市内での居住年数などとは関連が見れなかった。

その一方、在日外国人のための活動のうち、「生活に困っている在日外国人のための支援」に関しては生活満足度との関連が見られた。「あなたご自身の今の生活について、満足していますか。それとも不満ですか」という問いに対して、「満足している」もしくは「どちらかといえば、満足している」と回答した人では、4割弱が生活に困っている外国人のための支援に参加したいと考えている。しかし、自身の生活に不満を持っている人では、8割近くの人が参加したくないと答えている(表4-2)。

また、ここでもやはり年齢と深く関係していることが明らかになった。上述した7項目のうち、6項目で年齢との有意な関連が認められた。

全体として、外国人のための活動への参加意欲は低いですが、若年層は高年層よりおおむね積極的に参加する傾向を持っている。特に、「日本人と外国人が交流するイベント」に関しては57.9%、「外国人とコミュニケーションできるようになるための、外国語講座の受講」については52.1%の若年層が参加したいと回答している。その一方で、「外国人のホームステイ受け入れ」「通訳や翻訳」については若年層でも参加意欲は非常に乏しく、高年層に至っては85%前後が参加したくないと考えている(表4-3)。

表 4-1：在日外国人のための活動への参加意識

	参加したい	どちらかといえば、参加したい	どちらかといえば、参加したくない	参加したくない	合計
日本人と外国人が交流するイベント	6.0	38.8	37.5	17.7	654
多文化共生について学ぶための講演会や学習会	5.9	36.0	38.5	19.6	644
外国人とコミュニケーションできるようになるための、外国語講座の受講	4.9	28.4	35.7	30.9	647
外国人を対象とした日本語教室でのボランティア	4.0	24.0	46.7	25.3	643
外国人のホームステイ受け入れ	4.0	17.3	47.4	31.2	647
生活に困っている在日外国人のための支援	3.1	29.2	46.1	21.6	647
通訳や翻訳	1.9	15.1	44.8	38.2	636

表 4-2：「生活に困っている在日外国人のための支援」への参加意識と生活満足度のクロス表

		参加したい	どちらかといえば、参加したい	どちらかといえば、参加したくない	参加したくない	合計
生活満足度**	満足	3.5	33.2	45.1	18.2	368
(χ <sup>2</sup> =19.717、 d.f.=6、V=.124)	どちらともいえない	2.0	26.5	51.0	20.4	147
	不満	1.6	19.5	44.7	34.1	123

表 4-3：在日外国人のための活動への参加意識と年代のクロス表

		参加したい	どちらかといえ ば、参加したい	どちらかといえ ば、参加したくない	参加したくない	合計
日本人と外国人が交流するイベント** ( $\chi^2=31.467$ 、d.f.=6、 $V=.155$ )	20～30代	7.6	50.3	34.5	7.6	145
	40～50代	5.8	40.2	40.2	13.8	224
	60代以上	5.3	31.9	36.8	26.0	285
多文化共生について学ぶための講演会や学習会** ( $\chi^2=15.437$ 、d.f.=6、 $V=.109$ )	20～30代	8.3	37.5	39.6	14.6	144
	40～50代	5.0	38.9	41.6	14.5	221
	60代以上	5.4	33.0	35.5	26.2	279
外国人のホームステイ受け入れ** ( $\chi^2=22.761$ 、d.f.=6、 $V=.133$ )	20～30代	6.2	27.4	43.8	22.6	146
	40～50代	4.0	16.6	50.2	29.1	223
	60代以上	2.9	12.6	47.1	37.4	278
外国人を対象とした日本語教室でのボランティア** ( $\chi^2=29.170$ 、d.f.=6、 $V=.151$ )	20～30代	6.9	28.3	49.7	15.2	145
	40～50代	3.2	28.5	48.0	20.4	221
	60代以上	3.2	18.1	44.0	34.7	277
通訳や翻訳** ( $\chi^2=24.289$ 、d.f.=6、 $V=.138$ )	20～30代	2.1	20.5	50.0	27.4	146
	40～50代	0.5	15.9	49.1	34.5	220
	60代以上	3.0	11.5	38.5	47.0	270
外国人とコミュニケーションできるようになるため の、外国語講座の受講** ( $\chi^2=62.025$ 、d.f.=6、 $V=.219$ )	20～30代	7.5	44.5	34.2	13.7	146
	40～50代	5.4	32.4	36.0	26.1	222
	60代以上	3.2	16.8	36.2	43.7	279

在日外国人のためのさまざまな活動への参加意識は、4章で検討した外国人観と同様に、外国人とのつきあい行動と有意な関連があった。

まず、「あいさつや言葉を交わす」といったつきあいのある人は、そうでない人たちより、外国人のための活動への参加意欲が高いことが分かった。すでに述べたように、全般的に参加意欲は低くなっていたが、「日本人と外国人が交流するイベント」に関しては、外国人とつきあいのある人のうち過半数が参加したい（参加したい+どちらかといえば、参加したい）と回答していた。

一方、「外国人のホームステイ受け入れ」「通訳や翻訳」については特に参加意欲が低くなっており、外国人とつきあいのある人でも7割、つきあいのない人では8割以上が参加したくないと考えていることが分かった（表4-4）。

また、「生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくある」という人は、そうでない人に比べて、「日本人と外国人が交流するイベント」「外国人を対象とした日本語教室でのボランティア」「通訳や翻訳」への参加意欲が高かった。

「一緒に働いたことがある」という人は、そうでない人たちと比較して、「日本人と外国人が交流するイベント」「多文化共生について学ぶための講演会や学習会」「外国人を対象とした日本語教室でのボランティア」「通訳や翻訳」への参加意欲が高かった。

学校で外国人と一緒に勉強したことがあるか否かは、参加意欲へに与える影響は比較的強く、7項目の活動のうち、「日本人と外国人が交流するイベント」「多文化共生について学ぶための講演会や学習会」「外国人のホームステイ受け入れ」「外国人を対象とした日本語教室でのボランティア」と有意に関連していた。

いずれの項目に関しても、学校で一緒に勉強したことがあるという人では10%以上が「参加したい」と回答しているのに対して、勉強したことがない人では5%未満にとどまっていた（表4-5）。

第3章で扱った外国人観の際にも注目したように、ここでも友人としてつきあった経験の有無は特に強い影響を与えていることが明らかになった。友人経験の有無は、7項目すべてと有意な関連を持っており、その関連の強さはCramer'sV係数の値の大きさからもうかがえる。

特に、「日本人と外国人が交流するイベント」「多文化共生について学ぶための講演会や学習会」「外国人とコミュニケーションできるようになるための、外国語講座の受講」の3項目について、友人経験を持つ人の参加意欲は高く、それぞれ73.8%、65.6%、60.3%が参加したい（参加したい+どちらかといえば、参加したい）と考えている。

しかし、特に友人としてつきあった経験のない人では、「通訳や翻訳」「外国人のホームステイ受け入れ」「外国人を対象とした日本語教室でのボランティア」「生活に困っている在日外国人のための支援」への参加意欲は非常に低くなっている。通訳とホームステイでは8割以上、後者2つについても7割以上の人が参加したくないと回答している（表4-6）。

表 4-4：外国人とのつきあいの有無と在日外国人のための活動への参加意識のクロス表

		参加したい	どちらかといえ ば、参加したい	どちらかといえ ば、参加したくない	参加したくない	合計
日本人と外国人が交流するイベント** ( $\chi^2=16.775$ 、d.f.=3、 $V=.135$ )	つきあいがある	8.6	43.8	33.7	13.9	267
	つきあいはない	3.3	34.9	41.8	19.9	361
外国人のホームステイ受け入れ* ( $\chi^2=10.477$ 、d.f.=3、 $V=.130$ )	つきあいがある	6.1	17.6	51.3	24.9	261
	つきあいはない	2.8	15.8	46.1	35.3	360
外国人を対象とした日本語教室でのボランティア* ( $\chi^2=10.149$ 、d.f.=3、 $V=.128$ )	つきあいがある	5.4	27.3	47.7	19.6	260
	つきあいはない	3.1	20.4	47.8	28.8	358
生活に困っている在日外国人のための支援** ( $\chi^2=11.820$ 、d.f.=3、 $V=.138$ )	つきあいがある	4.2	33.8	46.5	15.4	260
	つきあいはない	2.5	25.9	46.3	25.3	363
通訳や翻訳** ( $\chi^2=14.311$ 、d.f.=3、 $V=.153$ )	つきあいがある	2.0	18.4	49.8	29.8	255
	つきあいはない	1.7	12.0	42.0	44.3	357
外国人とコミュニケーションできるようになるための、外 国語講座の受講*( $\chi^2=11.300$ 、d.f.=3、 $V=.135$ )	つきあいがある	7.3	29.1	39.1	24.5	261
	つきあいはない	3.3	27.5	34.2	35.0	360

表 4-5 : 外国人と学校で一緒に勉強したか否かと在日外国人のための活動への参加意識のクロス表

		参加したい	どちらかといえ ば、参加したい	どちらかといえ ば、参加したくない	参加した くない	合計
日本人と外国人が交流するイベント** ( $\chi^2=18.966$ , d.f.=3, V=.190)	学校で一緒に勉強した	13.0	52.2	23.2	11.6	69
	一緒に勉強していない	4.2	36.6	40.1	19.2	454
多文化共生について学ぶための講演会や学習会** ( $\chi^2=21.458$ , d.f.=3, V=.208)	学校で一緒に勉強した	13.0	50.7	21.7	14.5	69
	一緒に勉強していない	3.5	35.5	39.7	21.3	451
外国人のホームステイ受け入れ** ( $\chi^2=18.1039$ , d.f.=3, V=.186)	学校で一緒に勉強した	10.1	27.5	39.1	23.2	69
	一緒に勉強していない	2.4	15.9	48.2	33.5	454
外国人を対象とした日本語教室でのボランティア** ( $\chi^2=17.114$ , d.f.=3, V=.181)	学校で一緒に勉強した	10.3	35.3	33.8	20.6	68
	一緒に勉強していない	2.7	22.3	48.7	26.3	452

表 4-6 : 友人としてつきあったか否かと在日外国人のための活動への参加意識のクロス表

		参加したい	どちらかといえ ば、参加したい	どちらかといえ ば、参加したくない	参加した くない	合計
日本人と外国人が交流するイベント** ( $\chi^2=53.879$ 、d.f.=3、 $V=.321$ )	友人としてつきあった	23.1	50.8	20.0	6.2	65
	つきあっていない	3.3	36.8	40.1	19.8	459
多文化共生について学ぶための講演会や学習会** ( $\chi^2=29.570$ 、d.f.=3、 $V=.239$ )	友人としてつきあった	17.2	48.4	23.4	10.9	64
	つきあっていない	3.5	35.6	39.1	21.8	455
外国人のホームステイ受け入れ* ( $\chi^2=35.602$ 、d.f.=3、 $V=.261$ )	友人としてつきあった	14.1	23.4	51.6	10.9	64
	つきあっていない	2.0	16.6	46.7	34.7	458
外国人を対象とした日本語教室でのボランティア* ( $\chi^2=32.791$ 、d.f.=3、 $V=.251$ )	友人としてつきあった	14.1	34.4	42.2	9.4	64
	つきあっていない	2.2	22.4	47.5	27.9	455
生活に困っている在日外国人のための支援* ( $\chi^2=11.378$ 、d.f.=3、 $V=.148$ )	友人としてつきあった	4.8	42.9	42.9	9.5	63
	つきあっていない	2.4	26.6	47.7	23.3	455
通訳や翻訳** ( $\chi^2=23.670$ 、d.f.=3、 $V=.215$ )	友人としてつきあった	4.7	29.7	46.9	18.8	64
	つきあっていない	1.1	12.7	43.8	42.4	450
外国人とコミュニケーションできるようになるための、外 国語講座の受講*( $\chi^2=26.067$ 、d.f.=3、 $V=.224$ )	友人としてつきあった	11.1	49.2	27.0	12.7	63
	つきあっていない	3.3	27.4	35.0	34.4	457

## 2) 外国人の人権と必要な施策への意識

次に、「あなたは外国人の人権を守るために、次のことが重要だと思いますか。それとも思いませんか」という質問に対する回答を検討していこう。本調査では、9項目についてその重要性がどのように認識されているのかを問うた。その結果、「外国籍児童生徒を対象とした日本語教育や母語保持教育を推進する」「在日外国人のための相談・支援体制を充実する」「全校児童生徒を対象とした国際理解教育を推進する」「安心して就労できる環境を整備する」の4項目に関しては「重要である」という回答が2割以上を占め、「どちらかといえば、重要である」を合わせると、75%を上回っていた。

外国人の人権を守るための施策については、比較的「重要」とする回答が多くなっており、9項目中7項目で重要だと考える回答（重要である+どちらかといえば、重要である）が7割を超えていた。ただし、「地方参政権や行政への参画を推進する」については、45.5%が重要でないと考えており、否定的な回答が最も多くなっていた（表4-7）。

この点に関しても、居住地域との関連は見られなかったが、性別については一部有意に関連していた。具体的には、「外国籍児童生徒を対象とした日本語教育や母語保持教育を推進する」「日常生活に必要な情報を外国語で提供する」の2項目で、女性は男性に比べて「重要である」と回答する人が多かった（表4-8）。

たとえば、外国籍児童への日本語教育等について、「重要である」とする回答は男性の18.6%に対して、女性は28.3%となっていた。外国語による日常生活に必要な情報提供は、男性が14.0%にとどまっている一方、女性では24.0%になっていた。つまり、一部とはいえ、女性の方が男性よりも外国人への施策に積極的な姿勢を持っていると言える。

また、年代や外国人とのつきあいについては、ここまで見てきたものと同様の傾向が見られた。年代別に検討すると、いずれの施策に関しても、若年層ほど「重要である」と考えているのに対して、高年層ではその割合が低くなっていた。外国人とのつきあいに関しても、つきあいのある人ほどいずれの施策も重要であると考えており、つきあいのない人は「重要でない」と回答する傾向が見られた。

外国人とのつきあい行動も、やはり外国人の人権を守るための施策に対する意識に影響を与えていた。まず、外国人とあいさつや言葉を交わすといったつきあいをしている人は、そうでない人に比べて、さまざまな施策を重要であると考えている傾向があった。

具体的には「在日外国人のための相談・支援体制を充実する」「国際理解のための講座、交流イベントを開催する」「全校児童生徒を対象とした国際理解教育を推進する」の3項目で統計的に意味のある違いが見られ、いずれの項目でも外国人とつきあいがある人の方が、重要であると認識していた（表4-9）。

同様に、いくつかの項目で「生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくある」「学校で一緒に勉強したことがある」という人は、そうでない人たちに比べて、外国人の人権を守るための施策を重要であると考えていた。

なかでも注目すべき点は、「友人としてつきあっている／つきあっていた」かどうかである。友人関係の有無は、本調査で尋ねた外国人の人権を守るための施策9項目すべてと有意に関連していた（表4-10）。



特に「重要である」とする回答の割合で差が大きかったものは、「在日外国人の子どもたちの就学を支援する」「在日外国人のための相談・支援体制を充実する」「安心して就労できる環境を整備する」「全校児童生徒を対象とした国際理解教育を推進する」の4項目である。

「在日外国人の子どもたちの就学を支援する」に関しては、友人としてつきあった経験のある人は46.3%が「重要である」と回答しているのに対して、そうでない人では15.7%に過ぎず、その差は実に30.5ポイントとなっていた。その他の3項目について、やはり20ポイント以上の差となっている。

この差の大きさは、実際に外国人と友人としてつきあってみて初めて、それらの問題がいかに在日外国人にとって重要であるかが認識できるものであると言えよう。この4項目から、外国人の人権を守るために特に重要なものが何であるかは明らかである。すなわち、相談・支援、教育、そして就労である。

つまり、日本で暮らす外国人、日本人、すべての人が心地よく生活できる「多文化共生」社会を実現するためには、特に相談・支援、教育、就労に関するさまざまな施策の推進が望まれていると言える。

表 4-7：外国人の人権を守るために重要な施策についての意識

	重要である	どちらかといえば、重要である	どちらかといえば、重要ではない	重要ではない	合計
外国籍児童生徒を対象とした日本語教育や母語保持教育を推進する	24.1	53.4	18.1	4.3	646
在日外国人のための相談・支援体制を充実する	23.5	52.9	18.6	4.9	650
全校児童生徒を対象とした国際理解教育を推進する	21.2	56.8	17.3	4.6	646
安心して就労できる環境を整備する	20.3	57.1	18.3	4.3	645
日常生活に必要な情報を外国語で提供する	19.8	51.5	22.2	6.5	648
在日外国人の子どもたちの就学を支援する	19.4	54.4	20.6	5.6	645
在日外国人に対する社会的諸制度の格差を是正する	16.5	56.6	20.7	6.1	641
国際理解のための講座、交流イベントを開催する	13.1	54.5	26.5	5.9	642
地方参政権や行政への参画を推進する	9.6	45.0	36.1	9.4	638

表 4-8：性別と外国人の人権を守るための施策への意識のクロス表

		重要である	どちらかといえば、重要である	どちらかといえば、重要ではない	重要ではない	合計
外国籍児童生徒を対象とした日本語教育や母語保持教育を推進する* ( $\chi^2=8.682$ 、d.f.=3、 $V=.117$ )	男性	18.6	58.4	18.9	4.1	291
	女性	28.3	49.6	17.8	4.4	343
日常生活に必要な情報を外国語で提供する** ( $\chi^2=14.092$ 、d.f.=3、 $V=.149$ )	男性	14.0	53.4	27.1	5.5	292
	女性	24.0	50.6	18.4	7.0	342

表 4-9：外国人とのつきあいの有無と在日外国人施策への意識のクロス表

		重要で ある	どちらかといえ ば、重要である	どちらかといえ ば、重要ではない	重要では ない	合計
在日外国人のための相談・支援体制を充実する* ( $\chi^2=7.811$ 、d.f.=3、 $V=.112$ )	つきあいがある	27.1	52.4	18.2	2.2	269
	つきあいはない	21.6	53.4	18.5	6.5	356
国際理解のための講座、交流イベントを開催する* ( $\chi^2=8.580$ 、d.f.=3、 $V=.118$ )	つきあいがある	17.3	54.1	24.4	4.1	266
	つきあいはない	10.2	55.1	27.6	7.1	352
全校児童生徒を対象とした国際理解教育を推進する* ( $\chi^2=8.272$ 、d.f.=3、 $V=.116$ )	つきあいがある	24.3	53.7	19.4	2.6	268
	つきあいはない	19.3	59.1	15.3	6.3	352

表 4-10 : : 友人としてつきあった経験があるかどうかと在日外国人施策への意識のクロス表

		重要 である	どちらかといえ ば、重要である	どちらかといえ ば、重要ではない	重要で はない	合計
在日外国人のための相談・支援体制を充実する** ( $\chi^2=19.780$ , d.f.=3, V=.196)	友人としてつきあった	42.6	48.5	7.4	1.5	68
	つきあっていない	20.8	52.9	20.1	6.3	448
国際理解のための講座、交流イベントを開催する** ( $\chi^2=15.817$ , d.f.=3, V=.176)	友人としてつきあった	25.0	57.4	16.2	1.5	68
	つきあっていない	10.8	53.3	29.1	6.8	443
外国籍児童生徒を対象とした日本語教育や母語保持教 育を推進する**( $\chi^2=14.964$ , d.f.=3, V=.171)	友人としてつきあった	40.3	50.7	6.0	3.0	67
	つきあっていない	21.9	53.0	19.9	5.1	447
全校児童生徒を対象とした国際理解教育を推進する** ( $\chi^2=16.995$ , d.f.=3, V=.182)	友人としてつきあった	40.3	47.8	9.0	3.0	67
	つきあっていない	18.8	58.3	17.6	5.4	448
在日外国人の子どもたちの就学を支援する** ( $\chi^2=34.921$ , d.f.=3, V=.261)	友人としてつきあった	46.3	38.8	10.4	4.5	67
	つきあっていない	15.7	55.3	22.5	6.5	445
日常生活に必要な情報を外国語で提供する** ( $\chi^2=13.687$ , d.f.=3, V=.163)	友人としてつきあった	35.8	49.3	11.9	3.0	67
	つきあっていない	18.3	51.3	23.0	7.4	448
地方参政権や行政への参画を推進する** ( $\chi^2=13.821$ , d.f.=3, V=.165)	友人としてつきあった	19.4	50.7	25.4	4.5	67
	つきあっていない	7.7	44.1	37.3	10.9	440
安心して就労できる環境を整備する** ( $\chi^2=19.204$ , d.f.=3, V=.193)	友人としてつきあった	38.8	49.3	10.4	1.5	67
	つきあっていない	17.0	58.1	18.8	6.1	446
在日外国人に対する社会的諸制度の格差を是正する** ( $\chi^2=13.908$ , d.f.=3, V=.165)	友人としてつきあった	27.9	60.3	10.3	1.5	68
	つきあっていない	14.2	56.9	21.2	7.7	443

## おわりに

本調査によって明らかになったのは以下の8点である。

1. 年齢が下がるにつれて外国人との接触の頻度が高い傾向にあるが、外国籍市民の割合や人権施策基本方針への外国人に関する記載の認知度は、年齢が下がるにつれて低くなっている【2-1 外国籍市民の割合・人権施策基本方針の認知】。
2. 日常的に外国人を見かける機会が多いが、関わる機会を持つ市民は少ない。また、関わり具合は、挨拶程度という人が多い【2-2 外国籍市民とのつきあい】。
3. 外国人とのつきあいは全体として低い。また、外国人とのつきあいは、性別や居住地域、年代、そして在日外国人の出身の国籍や地域によって、違いがある。【2-3 日常生活における外国籍市民との接触】。
4. 外国人との共生を望んでいる市民は多いが、「郷に入れば郷に従え」式の、外国人が日本の文化や習慣に合わせることを望む傾向にある。その一方で、外国人が市民としての権利を行使することについては否定的であり、一般的動向としての外国人増加には不安を持っている人が多い【3-1 外国人への考え方】。
5. 外国人との接触頻度が高い市民ほど、外国人との接触における抵抗感が少ない【3-2 在日外国人との接触における抵抗感】。
6. 外国人への親しみの意識は、年代や地域別によって傾向が大きく異なり、関わる外国人の国籍に違いがある【3-3 外国籍市民に対する親しみの意識】。
7. 国際交流イベントや語学講座といった体験参加型の国際交流を望む市民は多いが、ボランティア型の交流を望む人は少ない【4-1 在日外国人のための活動に対する参加意欲】。
8. 行政が行う外国人のための施策には肯定的な態度を持つ市民が多いが、自らが主体的に関わることには消極的である【4-2 外国人の人権と必要な施策への意識】。

これらの点を踏まえて、最後に米原市が外国籍市民に対する効果的な人権施策を推進するために取り組むべき課題と提言を行いたい。

### 課題と提言

1. 日本人市民と外国籍市民が交流するための場と機会の提供
2. 多文化共生教育の実践
3. 国際交流協会の設立
4. 日本人（米原）市民への支援措置

まず取り組むべきは、**1. 日本人市民と外国籍市民が交流するための場と機会の提供**である。外国籍市民を日常的に見かけることがあっても、交流を深めたり、彼らに対して親しみをもったりすることが少ないのは、日本人市民と外国籍市民が積極的に関わる機会がなかったからではなからうか。昨年実施した「米原市外国籍市民インタビュー調査」の結果からも明らかであるように、米原市に在住する外国籍の人々は、派遣会社や受け入れ企業が用意するアパートと職場とを往復する毎日であり、地域で交流を深める機会は限られている現状にある。その一方で、日本人市民の中には、外国籍市民との交流を望んでいる者が、少なからず見受けられる。とりわけ、若い世代の日本人市民は、外国籍市民の割合や市の人権施策基本方針についての認知度こそ低い、外国籍市民と関わる活動には前向きである。

よって、米原市は外国籍市民と日本人市民が交流する場と機会を積極的に設けていくことが求められよう。最初はイベント的な国際交流でも構わない。とにかく、日本人市民と外国籍市民とが、同じ場を共有して、交流の機会を持つことが大事なのである。そこから、日本人市民の外国籍市民に対する抵抗が少なくなり、外国籍市民のための日本語学習支援ボランティアや外国籍児童生徒のための学習ボランティアなどに志願したり、外国籍市民を支援する市民運動団体が形成されたりするなど、次のステップに進める可能性も出てくるのではなからうか。また、同様に外国籍市民にとっても、市民としての自覚が生まれ、地域へ溶け込もうという気概が生まれるのではなからうか。米原市は、派遣業者や受け入れ企業の協力を得て、国際交流を進めていくことが求められている。

ただ、こうした国際交流は、ときとして、外国の食べ物や衣装、祭りなどを紹介する、表層的な「3F」（Food, Fashion, Festival）に終始する可能性が否めない。日本人市民と外国籍市民の交流を、多文化共生のまちづくりにつなげていくためには、文化や習慣の違いだけではなく、全ての人々の市民としての権利を尊重することを学ぶ、**2. 多文化共生教育の実践**が必要であろう。ここでいう教育とは、学校教育に限らず、公民館や図書館、生涯施設等で行われる社会教育や、広報紙やケーブルテレビでの啓発、学習会・講演会の実施も含まれる。米原市は総務部人権推進課だけではなく、市教育委員会やその他の部署とも連携して、取り組みを進めていくことが求められる。

なお、現在滋賀県には、財団法人滋賀県国際協会に加え、17の市町村が独自の国際交流協会を有している。国際交流協会は、国際交流の橋渡しとしてではなく、多文化共生教育のコーディネーターとしても重要な存在である。よって、米原市は、**3. 国際交流協会の設立**を視野に入れて、（財）滋賀県国際協会をはじめとする県内の各国際交流協会とも連携をとっていくことが必要であろう。

外国籍市民との関わりを通して、社会の中に多様な文化や価値観があり、それぞれが市民として生きる権利を持つことを市民一人一人が理解することは、ひいては、性別や障害者の有無や出自によって人を区別しない、共生のためのまちづくりにもつながるのではなからうか。

ただ、米原市民の間において、国籍や文化の違いを超えた関わりが生まれるためには、外国籍市民のみならず**4. 日本人市民の生活課題の改善**を行う必要がある。統計調査の集計結果のみならず、自由記述の回答からも言えることであるが、長引く不況のあおりを受け、自身の生活に不満を抱える日本人市民は少なくない。現在の生活に不満を持っている日本

人市民のうち8割近くが、外国籍市民のための支援活動には参加したくないと回答していることから明らかであるように、自身の生活に余裕が無い時は、外国籍市民への支援活動等に関心を向ける余裕がないばかりか、現在の生活に対する不満のはけ口が、社会的弱者である外国籍市民に向かい、その結果、偏見や差別を生みだしてしまう可能性も否めない。よって、高齢化社会への対応を含め、日本人市民の生活の質を高めつつ、外国籍市民への施策を進めることが求められよう。

## 調査票

# 米原市共生社会実現に向けた市民意識調査

2009年7月  
米 原 市

### 調査へのご協力をお願い

米原市では、すべての市民の基本的人権が尊重され、人が輝く住みよいまちを目指して、様々な取り組みを進めています。

この調査は、市民のみなさんに外国籍市民に関するご意見をおたずねし、今後の外国籍市民に対する人権施策に役立てるために行うもので、2009年7月1日に米原市に住民登録のある方（外国人登録者を除く）で、20歳以上の方のうち4%を無作為に抽出させていただきました。

調査は無記名であり、この調査目的以外に使用することはありません。

あなたの率直なお考えをお聞かせください。

### ご記入にあたってのお願い

- ☆ ご回答にあたっては、封筒のあて名の方、ご本人がご記入下さい。
- ☆ ご回答は、質問ごとに用意されている答えの中から、あなたの考えに近いものを選び、番号に○をしてください。
- ☆ ご記入は、鉛筆、ボールペンまたは万年筆でお願いいたします。
- ☆ ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて（切手不要）8月20日（木）までにご投函いただきますようお願いいたします。
- ☆ この調査についてのご質問は、米原市総務部人権推進課（電話52-6629）までお願いいたします。



問1. あなたの年齢と性別をお答え下さい。

1. 20代	4. 50代
2. 30代	5. 60代
3. 40代	6. 70代以上

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2. あなたのお住まいの地域はどちらですか。

1. 米原地域	3. 山東地域
2. 近江地域	4. 伊吹地域

問3. 米原市民の約58人に1人は外国籍市民ですが、そのことをご存知でしたか。

1. 知っていた。	2. 知らなかった。
-----------	------------

問4. あなたは「米原市人権尊重のまちづくり条例」を具現化するため、本年3月に策定された「米原市人権施策基本方針」に外国人の人権に関する記載があることをご存知でしたか。

1. 知っていた。	2. 知らなかった。
-----------	------------

問5. あなたは、現在、日本に住んでいる次のような外国人の方々と、あいさつや言葉を交わすことがありますか。そのようなおつきあいのある方すべてに○をつけてください。また、そのような方はそれぞれ何人くらいおられますか。

	○印欄		人数
1.		外国人とのつきあいはない。	
2.		韓国・朝鮮人の方。	人
3.		ブラジル・ペルーなど南米から来られた方。	人
4.		中国人の方。	人
5.		それ以外のアジアからの外国人の方。	人
6.		アメリカ人の方。	人
7.		その他の外国人の方。	人

問 6. あなたは日常生活の次のような場面で**外国人と接する機会がありますか**。

	はい	いいえ
a. ほとんど見かけることはない。	1	2
b. 生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくある。	1	2
c. 学校で一緒に勉強したことがある。	1	2
d. 一緒に働いたことがある。	1	2
e. 友人としてつきあっている／つきあっていた。	1	2
f. 自分または家族や親せきが、日本に住んでいる外国人と結婚している。	1	2

問 7. ここ 10 年、在日外国人の数が急激に増加していると言われますが、外国人に対する次の意見について、あなたはどのように思いますか。 **それぞれ一つずつ**選んで下さい。

	そう思う	どちらかといえ ば、そう思う	どちらかといえ ば、そう思わない	そう思わない
a. 日本に外国人が増えるのは好ましいことだ。	1	2	3	4
b. 外国人による日本の土地購入は良くないことだ。	1	2	3	4
c. 政治的な迫害で難民となった外国人を積極的に受け入れた方がよい。	1	2	3	4
d. 外国人と日本人の結婚が増えるのは良いことだ。	1	2	3	4
e. 外国人という理由で大家が入居を断るのは良くないことだ。	1	2	3	4
f. 外国人が多く入って来ることは、日本経済の発展につながる。	1	2	3	4
g. 多くの外国人が日本に永住することは良いことだ。	1	2	3	4
h. 考え方の違う外国人を日本社会に受け入れることはむずかしい。	1	2	3	4
i. 隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ。	1	2	3	4
j. 職場の同僚に外国人が増えることは好ましいことだ。	1	2	3	4
k. 日本に住んでいる外国人は、日本の文化やしきたりを守るべきだ。	1	2	3	4
l. 外国人の公務員を増やすべきだ。	1	2	3	4
m. 外国人が町内会や自治会に加わるのは良いことだ。	1	2	3	4
n. 外国人が地域のお祭りなどの行事に参加するのは良いことだ。	1	2	3	4
o. 外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるのは望ましいことだ。	1	2	3	4
p. 地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ。	1	2	3	4
q. 外国人も P T A などの役員にどんどんなってゆくべきだ。	1	2	3	4

問8. あなたは次のような事柄について「抵抗」がありますか、それともありませんか。それぞれ一つずつ選んで下さい。

	まったく抵抗はない	あまり抵抗はない	どちらともいえない	少し抵抗がある	抵抗がある
a. 在日外国人が自分の職場の上司になること（会社などで働いていない方は、もし自分が会社などで働いたとしたらどう思うか、を お答え下さい）。	1	2	3	4	5
b. 在日外国人が自分の隣近所に住んでいること。	1	2	3	4	5
c. 在日外国人と自分の子どもが結婚すること（現在、未婚のお子様 がおられない方は、もしおられたらどう思うかをお答え下さい）。	1	2	3	4	5

問9. 「外国人」と聞いてまず最初に思い浮かぶのは、どこの国の人々ですか。  
あてはまる番号を一つだけ選んで下さい。

1. アメリカ人	4. 韓国・朝鮮人
2. ブラジル人	5. フィリピン人
3. 中国人	6. その他 [ ]

問10. あなたは次のような国の人々に、「親しみ」を感じますか、それとも感じませんか。それぞれ一つずつ選んで下さい。

	とても感じる	いえば、感じる	どちらかかと 感じない	どちらかといえ ば、	まったく感じない
a. アメリカ人	1	2	3	4	
b. ブラジル人	1	2	3	4	
c. 中国人	1	2	3	4	
d. 韓国・朝鮮人	1	2	3	4	
e. フィリピン人	1	2	3	4	

問 11. つぎに、今住んでいる地域（小学校区ぐらい）について、あなたが日頃感じておられることをおたずねします。それぞれ一つずつ選んで下さい。

	そう思う	どちらかと いえば、そう思う	どちらかといえ ば、そう思 わない	そう 思わ ない
a. 10年くらい前と比べてこの地域の景気はよくなった。	1	2	3	4
b. 10年くらい前とくらべてあなた自身の暮らし向きはよくなった。	1	2	3	4
c. 外出してこの町に帰ってきた時に「自分の町に帰ってきた」と感じてホッとする。	1	2	3	4
d. この町の人たちは互いに協力する気持ち（団結心）が強い方だ。	1	2	3	4
e. 事情が許せば、ずっとこの地域に住み続けたい。	1	2	3	4
f. 町内や校区で一緒にする行事（寄付、清掃、署名運動など）に、参加する方である。	1	2	3	4
g. この地域は、これから先、生活の場所としてだんだん良くなると思う。	1	2	3	4
h. この町のためになることをして、何か役に立ちたいと思う。	1	2	3	4
i. いろんなことを総合して（まとめて）、この地域の住み心地はよい方だと思う。	1	2	3	4

問 12. あなたは在日外国人のための次のような活動に参加したいと思いますか。それぞれ一つずつ選んで下さい。

	参加 したい	どちらかと いえば、参加 したい	どちらかとい えば、参加 したくない	参加 したくない
a. 日本人と外国人が交流するイベント。	1	2	3	4
b. 多文化共生について学ぶための講演会や学習会。	1	2	3	4
c. 外国人のホームステイ受け入れ。	1	2	3	4
d. 外国人を対象とした日本語教室でのボランティア。	1	2	3	4
e. 生活に困っている在日外国人のための支援。	1	2	3	4
f. 通訳や翻訳	1	2	3	4
g. 外国人とコミュニケーションできるようになるための、外国語講座の受講。	1	2	3	4

問 13. あなたは、外国人の人権を守るために、次のことが重要だと思いますか。それとも思いませんか。それぞれ一つずつ選んで下さい。

	重要である	どちらかといえば、重要である	どちらかといえば、重要ではない	重要ではない
a. 在日外国人のための相談・支援体制を充実する。	1	2	3	4
b. 国際理解のための講座、交流イベントを開催する。	1	2	3	4
c. 外国籍児童生徒を対象とした日本語教育や母語保持教育を推進する。	1	2	3	4
d. 全校児童生徒を対象とした国際理解教育を推進する。	1	2	3	4
e. 在日外国人の子どもたちの就学を支援する。	1	2	3	4
f. 日常生活に必要な情報を外国語で提供する。	1	2	3	4
g. 地方参政権や行政への参画を推進する。	1	2	3	4
h. 安心して就労できる環境を整備する。	1	2	3	4
i. 在日外国人に対する社会的諸制度の格差を是正する。	1	2	3	4

問 14. あなたはご自身の今の生活について、満足していますか。それとも不満ですか。

1. 満足している。	4. どちらかと言えば不満である。
2. どちらかといえば、満足している。	5. 不満である。
3. どちらとも言えない。	

問 15. 結婚や家族のことについてうかがいます。それぞれ一つずつ選んで下さい。

	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない
a. 結婚している人の方が、結婚していない人よりだいたい幸せだ。	1	2	3	4
b. 結婚のいい点は、経済的に安定することだ。	1	2	3	4
c. 今日、人々が結婚するのは、主に子どもをつくるためだ。	1	2	3	4
d. どんな結婚でも、結婚しないよりはましだ。	1	2	3	4
e. 子どもの欲しい人は結婚するべきだ。	1	2	3	4
f. 結婚するつもりがなくても、男女が同居するのは、かまわない。	1	2	3	4
g. 結婚しようと思っている男女は、結婚前にまず同居してみるのがよい	1	2	3	4
h. 結婚生活がうまくいかなかったら、たいていは離婚するのが一番よい	1	2	3	4
i. 結婚情報サービスなどを利用して結婚するのは好ましいことではない。	1	2	3	4

**問 16.** あなたご自身のことについてうかがいます。あなたが最後に卒業した学校はどちらですか。（あてはまるものがない場合は、同等の学校と考えられるものを一つ選んで下さい。）

1. 中学校
2. 高等学校
3. 短大・高専・専門学校
4. 大学（4年制）
5. 大学院

**問 17.** あなたに現在配偶者（夫または妻）はいらっしゃいますか（内縁の配偶者も含みます）。

1. いる
2. 現在はいない（離別）
3. 現在はいない（死別）
4. 結婚したことがない（未婚）

**問 18.** あなたは現在の住所の前はどこに住んでいらっしゃいましたか。

1. 生まれてからずっと現在の住所に住んでいる。
2. 滋賀県内の他市町村に住んでいた。
3. 滋賀県外に住んでいた。

**問 19.** あなたは米原市内に通算して何年間お住まいになっていますか。

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満
5. 10年以上15年未満
6. 15年以上

**問 20** あなたと同居しているご家族は、あなたを含めて何人ですか。

人
---

**問 21** あなたの家族は、次のどれにあたりますか。

1. ひとり暮らし（単身世帯）
2. 夫婦のみ
3. 夫婦と未婚の子ども（核家族世帯）
4. 3世代で同居
5. その他 [ ]

問 22 あなたのお仕事の種類は、次のどれにあたりますか。

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 農林水産業            | 7. パートタイム・アルバイト |
| 2. 自営の商工業           | 8. 専業主婦・主夫      |
| 3. 専門、自由業（教員、医者など）  | 9. 学生           |
| 4. 管理職（課長級以上）       | 10. 無職          |
| 5. 事務系の勤め人（ホワイトカラー） | 11. その他 [ ]     |
| 6. 作業系の勤め人（ブルーカラー）  |                 |

問 23 過去1年間の**お宅の収入**は税込みでだいたいどれくらいでしょうか。**ご家族全員の収入を合わせて**、あてはまる番号を一つ選んで下さい。

- |                  |
|------------------|
| 1. 0～300 万円未満    |
| 2. 300～600 万円未満  |
| 3. 600～900 万円未満  |
| 4. 900～1200 万円未満 |
| 5. 1200 万円以上     |

お忙しいところ、調査にご協力いただき、ありがとうございました。

最後に、今回のアンケートについて、または多文化共生のためのまちづくりのためにご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

# 単純集計表

q1age年齢

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 20代     | 69  | 9.8   | 9.8     | 9.8     |
|     | 30代     | 80  | 11.3  | 11.4    | 21.2    |
|     | 40代     | 105 | 14.9  | 14.9    | 36.1    |
|     | 50代     | 124 | 17.5  | 17.6    | 53.8    |
|     | 60代     | 142 | 20.1  | 20.2    | 74.0    |
|     | 70代以上   | 183 | 25.9  | 26.0    | 100.0   |
|     | 合計      | 703 | 99.4  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 4   | .6    |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

q1sex性別

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 男性      | 312 | 44.1  | 45.3    | 45.3    |
|     | 女性      | 376 | 53.2  | 54.7    | 100.0   |
|     | 合計      | 688 | 97.3  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 19  | 2.7   |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

q2お住まいの地域

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 米原地域    | 222 | 31.4  | 31.8    | 31.8    |
|     | 近江地域    | 154 | 21.8  | 22.0    | 53.8    |
|     | 山東地域    | 223 | 31.5  | 31.9    | 85.7    |
|     | 伊吹地域    | 100 | 14.1  | 14.3    | 100.0   |
|     | 合計      | 699 | 98.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 8   | 1.1   |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

q3米原市民58人に1人は外国籍市民ということを知っているか

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 知っていた   | 59  | 8.3   | 8.5     | 8.5     |
|     | 知らなかった  | 637 | 90.1  | 91.5    | 100.0   |
|     | 合計      | 696 | 98.4  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 11  | 1.6   |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |



**q4「米原市人権施策基本方針」への外国人人権に関する記載を知っているか**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 知っていた   | 78  | 11.0  | 11.3    | 11.3    |
|     | 知らなかった  | 613 | 86.7  | 88.7    | 100.0   |
|     | 合計      | 691 | 97.7  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 16  | 2.3   |         |         |
|     | 合計      | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_1外国人との付き合いはない**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 当てはまらない | 295 | 41.7  | 43.7    | 43.7    |
|     | 当てはまる   | 380 | 53.7  | 56.3    | 100.0   |
|     | 合計      | 675 | 95.5  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 32  | 4.5   |         |         |
|     | 合計      | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_2外国人との付き合い：韓国・朝鮮人**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 当てはまらない | 640 | 90.5  | 94.3    | 94.3    |
|     | 当てはまる   | 39  | 5.5   | 5.7     | 100.0   |
|     | 合計      | 679 | 96.0  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 28  | 4.0   |         |         |
|     | 合計      | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_3外国人との付き合い：ブラジル・ペルーなど南米人**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 当てはまらない | 589 | 83.3  | 87.0    | 87.0    |
|     | 当てはまる   | 88  | 12.4  | 13.0    | 100.0   |
|     | 合計      | 677 | 95.8  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 30  | 4.2   |         |         |
|     | 合計      | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_4外国人との付き合い：中国人**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 当てはまらない | 601 | 85.0  | 88.6    | 88.6    |
|     | 当てはまる   | 77  | 10.9  | 11.4    | 100.0   |
|     | 合計      | 678 | 95.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 29  | 4.1   |         |         |
|     | 合計      | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_5外国人との付き合い：その以外のアジア人**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 当てはまらない | 643 | 90.9  | 94.7    | 94.7    |
|     | 当てはまる   | 36  | 5.1   | 5.3     | 100.0   |
|     | 合計      | 679 | 96.0  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 28  | 4.0   |         |         |
|     | 合計      | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_6外国人との付き合い:アメリカ人**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 当てはまらない | 638 | 90.2  | 94.0    | 94.0    |
|     | 当てはまる   | 41  | 5.8   | 6.0     | 100.0   |
|     | 合計      | 679 | 96.0  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 28  | 4.0   |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_7外国人との付き合い:その他の外国人**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 当てはまらない | 647 | 91.5  | 95.3    | 95.3    |
|     | 当てはまる   | 32  | 4.5   | 4.7     | 100.0   |
|     | 合計      | 679 | 96.0  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 28  | 4.0   |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_2t付き合いのある外国人の人数:韓国・朝鮮人**

|    |     | 度数      | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |  |
|----|-----|---------|-------|---------|---------|--|
| 有効 | 0   | 3       | .4    | 9.4     | 9.4     |  |
|    | 1   | 11      | 1.6   | 34.4    | 43.8    |  |
|    | 2   | 7       | 1.0   | 21.9    | 65.6    |  |
|    | 3   | 3       | .4    | 9.4     | 75.0    |  |
|    | 4   | 1       | .1    | 3.1     | 78.1    |  |
|    | 5   | 6       | .8    | 18.8    | 96.9    |  |
|    | 20  | 1       | .1    | 3.1     | 100.0   |  |
|    | 合計  | 32      | 4.5   | 100.0   |         |  |
|    | 欠損値 | システム欠損値 | 675   | 95.5    |         |  |
|    | 合計  | 707     | 100.0 |         |         |  |

**q5\_3t付き合いのある外国人の人数:ブラジル・ペルーなど南米人**

|    |     | 度数      | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |  |
|----|-----|---------|-------|---------|---------|--|
| 有効 | 0   | 2       | .3    | 2.6     | 2.6     |  |
|    | 1   | 16      | 2.3   | 21.1    | 23.7    |  |
|    | 2   | 18      | 2.5   | 23.7    | 47.4    |  |
|    | 3   | 10      | 1.4   | 13.2    | 60.5    |  |
|    | 4   | 5       | .7    | 6.6     | 67.1    |  |
|    | 5   | 12      | 1.7   | 15.8    | 82.9    |  |
|    | 6   | 2       | .3    | 2.6     | 85.5    |  |
|    | 10  | 7       | 1.0   | 9.2     | 94.7    |  |
|    | 15  | 1       | .1    | 1.3     | 96.1    |  |
|    | 20  | 2       | .3    | 2.6     | 98.7    |  |
|    | 200 | 1       | .1    | 1.3     | 100.0   |  |
|    | 合計  | 76      | 10.7  | 100.0   |         |  |
|    | 欠損値 | システム欠損値 | 631   | 89.3    |         |  |
|    | 合計  | 707     | 100.0 |         |         |  |

**q5\_4t付き合いのある外国人の人数: 中国人**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 0       | 3   | .4    | 4.5     | 4.5     |
|     | 1       | 31  | 4.4   | 46.3    | 50.7    |
|     | 2       | 17  | 2.4   | 25.4    | 76.1    |
|     | 3       | 4   | .6    | 6.0     | 82.1    |
|     | 4       | 1   | .1    | 1.5     | 83.6    |
|     | 5       | 4   | .6    | 6.0     | 89.6    |
|     | 6       | 1   | .1    | 1.5     | 91.0    |
|     | 10      | 3   | .4    | 4.5     | 95.5    |
|     | 15      | 1   | .1    | 1.5     | 97.0    |
|     | 30      | 2   | .3    | 3.0     | 100.0   |
|     | 合計      | 67  | 9.5   | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 640 | 90.5  |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_5t付き合いのある外国人の人数: その以外のアジア人**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 0       | 1   | .1    | 3.7     | 3.7     |
|     | 1       | 14  | 2.0   | 51.9    | 55.6    |
|     | 2       | 3   | .4    | 11.1    | 66.7    |
|     | 3       | 3   | .4    | 11.1    | 77.8    |
|     | 4       | 1   | .1    | 3.7     | 81.5    |
|     | 5       | 1   | .1    | 3.7     | 85.2    |
|     | 8       | 1   | .1    | 3.7     | 88.9    |
|     | 10      | 2   | .3    | 7.4     | 96.3    |
|     | 13      | 1   | .1    | 3.7     | 100.0   |
|     | 合計      | 27  | 3.8   | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 680 | 96.2  |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_6t付き合いのある外国人の人数: アメリカ人**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 0       | 1   | .1    | 2.9     | 2.9     |
|     | 1       | 20  | 2.8   | 57.1    | 60.0    |
|     | 2       | 8   | 1.1   | 22.9    | 82.9    |
|     | 3       | 4   | .6    | 11.4    | 94.3    |
|     | 5       | 1   | .1    | 2.9     | 97.1    |
|     | 25      | 1   | .1    | 2.9     | 100.0   |
|     | 合計      | 35  | 5.0   | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 672 | 95.0  |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q5\_7t付き合いのある外国人の人数:その他の外国人**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 1       | 15  | 2.1   | 62.5    | 62.5    |
|     | 2       | 5   | .7    | 20.8    | 83.3    |
|     | 4       | 2   | .3    | 8.3     | 91.7    |
|     | 10      | 1   | .1    | 4.2     | 95.8    |
|     | 17      | 1   | .1    | 4.2     | 100.0   |
|     | 合計      | 24  | 3.4   | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 683 | 96.6  |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q6a外国人と接する機会:ほとんど見かけることはない**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | はい      | 191 | 27.0  | 33.9    | 33.9    |
|     | いいえ     | 372 | 52.6  | 66.1    | 100.0   |
|     | 合計      | 563 | 79.6  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 144 | 20.4  |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q6b外国人と接する機会:生活地域で、顔を合わせることがある**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | はい      | 326 | 46.1  | 53.4    | 53.4    |
|     | いいえ     | 285 | 40.3  | 46.6    | 100.0   |
|     | 合計      | 611 | 86.4  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 96  | 13.6  |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q6c外国人と接する機会:学校で一緒に勉強したことがある**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | はい      | 69  | 9.8   | 12.5    | 12.5    |
|     | いいえ     | 482 | 68.2  | 87.5    | 100.0   |
|     | 合計      | 551 | 77.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 156 | 22.1  |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q6d外国人と接する機会:一緒に働いたことがある**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | はい      | 171 | 24.2  | 29.4    | 29.4    |
|     | いいえ     | 410 | 58.0  | 70.6    | 100.0   |
|     | 合計      | 581 | 82.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 126 | 17.8  |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q6e外国人と接する機会：友人として付き合っている/付き合った**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | はい      | 68  | 9.6   | 12.3    | 12.3    |
|     | いいえ     | 484 | 68.5  | 87.7    | 100.0   |
|     | 合計      | 552 | 78.1  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 155 | 21.9  |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q6f外国人と接する機会：自分・家族・親族が、在日外国人と結婚している**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | はい      | 44  | 6.2   | 7.9     | 7.9     |
|     | いいえ     | 512 | 72.4  | 92.1    | 100.0   |
|     | 合計      | 556 | 78.6  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 151 | 21.4  |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q7a日本に外国人が増えるのは好ましいことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 39  | 5.5   | 5.9     | 5.9     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 163 | 23.1  | 24.8    | 30.7    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 321 | 45.4  | 48.9    | 79.6    |
|     | そう思わない          | 134 | 19.0  | 20.4    | 100.0   |
|     | 合計              | 657 | 92.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 50  | 7.1   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7b外国人による日本の土地購入は良くないことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 82  | 11.6  | 12.4    | 12.4    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 185 | 26.2  | 27.9    | 40.3    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 248 | 35.1  | 37.5    | 77.8    |
|     | そう思わない          | 147 | 20.8  | 22.2    | 100.0   |
|     | 合計              | 662 | 93.6  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 45  | 6.4   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7c政治的な迫害で難民となった外国人を積極的に受け入れた方が良い**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 65  | 9.2   | 9.9     | 9.9     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 217 | 30.7  | 33.0    | 42.9    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 270 | 38.2  | 41.0    | 83.9    |
|     | そう思わない          | 106 | 15.0  | 16.1    | 100.0   |
|     | 合計              | 658 | 93.1  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 49  | 6.9   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7d外国人と日本人の結婚が増えるのは良いことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 68  | 9.6   | 10.4    | 10.4    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 242 | 34.2  | 36.8    | 47.2    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 256 | 36.2  | 39.0    | 86.1    |
|     | そう思わない          | 91  | 12.9  | 13.9    | 100.0   |
|     | 合計              | 657 | 92.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 50  | 7.1   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7e外国人という理由で大家が入居を断るのは良くないことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 231 | 32.7  | 34.7    | 34.7    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 268 | 37.9  | 40.2    | 74.9    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 121 | 17.1  | 18.2    | 93.1    |
|     | そう思わない          | 46  | 6.5   | 6.9     | 100.0   |
|     | 合計              | 666 | 94.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 41  | 5.8   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7f外国人が多く入って来ることは、日本経済の発展につながる**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 60  | 8.5   | 9.1     | 9.1     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 206 | 29.1  | 31.1    | 40.2    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 278 | 39.3  | 42.0    | 82.2    |
|     | そう思わない          | 118 | 16.7  | 17.8    | 100.0   |
|     | 合計              | 662 | 93.6  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 45  | 6.4   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7g多くの外国人が日本に永住することは良いことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 60  | 8.5   | 9.2     | 9.2     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 203 | 28.7  | 31.1    | 40.3    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 284 | 40.2  | 43.6    | 83.9    |
|     | そう思わない          | 105 | 14.9  | 16.1    | 100.0   |
|     | 合計              | 652 | 92.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 55  | 7.8   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7h考え方の違う外国人を日本社会に受け入れることはむずかしい**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 155 | 21.9  | 23.3    | 23.3    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 275 | 38.9  | 41.4    | 64.8    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 181 | 25.6  | 27.3    | 92.0    |
|     | そう思わない          | 53  | 7.5   | 8.0     | 100.0   |
|     | 合計              | 664 | 93.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 43  | 6.1   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7i隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 17  | 2.4   | 2.6     | 2.6     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 134 | 19.0  | 20.5    | 23.1    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 336 | 47.5  | 51.3    | 74.4    |
|     | そう思わない          | 168 | 23.8  | 25.6    | 100.0   |
|     | 合計              | 655 | 92.6  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 52  | 7.4   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7j職場の同僚に外国人が増えることは好ましいことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 32  | 4.5   | 5.0     | 5.0     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 176 | 24.9  | 27.8    | 32.8    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 320 | 45.3  | 50.5    | 83.3    |
|     | そう思わない          | 106 | 15.0  | 16.7    | 100.0   |
|     | 合計              | 634 | 89.7  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 73  | 10.3  |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7k日本に住んでいる外国人は、日本の文化やしきたりを守るべきだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 301 | 42.6  | 44.5    | 44.5    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 287 | 40.6  | 42.5    | 87.0    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 60  | 8.5   | 8.9     | 95.9    |
|     | そう思わない          | 28  | 4.0   | 4.1     | 100.0   |
|     | 合計              | 676 | 95.6  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 31  | 4.4   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7l外国人の公務員を増やすべきだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 20  | 2.8   | 3.0     | 3.0     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 119 | 16.8  | 18.0    | 21.0    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 322 | 45.5  | 48.7    | 69.7    |
|     | そう思わない          | 200 | 28.3  | 30.3    | 100.0   |
|     | 合計              | 661 | 93.5  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 46  | 6.5   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7m外国人が町内会や自治会に加わるのは良いことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 160 | 22.6  | 24.1    | 24.1    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 347 | 49.1  | 52.2    | 76.2    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 125 | 17.7  | 18.8    | 95.0    |
|     | そう思わない          | 33  | 4.7   | 5.0     | 100.0   |
|     | 合計              | 665 | 94.1  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 42  | 5.9   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7n外国人が地域のお祭りなどの行事に参加するのは良いことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 215 | 30.4  | 32.1    | 32.1    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 350 | 49.5  | 52.3    | 84.5    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 73  | 10.3  | 10.9    | 95.4    |
|     | そう思わない          | 31  | 4.4   | 4.6     | 100.0   |
|     | 合計              | 669 | 94.6  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 38  | 5.4   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7o外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるのは望ましいことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 221 | 31.3  | 33.1    | 33.1    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 326 | 46.1  | 48.9    | 82.0    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 86  | 12.2  | 12.9    | 94.9    |
|     | そう思わない          | 34  | 4.8   | 5.1     | 100.0   |
|     | 合計              | 667 | 94.3  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 40  | 5.7   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |



**q7p地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 181 | 25.6  | 27.3    | 27.3    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 336 | 47.5  | 50.8    | 78.1    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 104 | 14.7  | 15.7    | 93.8    |
|     | そう思わない          | 41  | 5.8   | 6.2     | 100.0   |
|     | 合計              | 662 | 93.6  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 45  | 6.4   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q7q外国人もPTAなどの役員にどんだんってゆくべきだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 127 | 18.0  | 19.1    | 19.1    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 294 | 41.6  | 44.3    | 63.4    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 185 | 26.2  | 27.9    | 91.3    |
|     | そう思わない          | 58  | 8.2   | 8.7     | 100.0   |
|     | 合計              | 664 | 93.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 43  | 6.1   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q8a次の事柄への抵抗感: 在日外国人が自分の職場の上司になること**

|     |            | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | まったく抵抗はない  | 52  | 7.4   | 7.8     | 7.8     |
|     | あまり抵抗はない   | 185 | 26.2  | 27.8    | 35.6    |
|     | どちらかともいえない | 223 | 31.5  | 33.5    | 69.2    |
|     | 少し抵抗がある    | 124 | 17.5  | 18.6    | 87.8    |
|     | 抵抗がある      | 81  | 11.5  | 12.2    | 100.0   |
|     | 合計         | 665 | 94.1  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値    | 42  | 5.9   |         |         |
| 合計  |            | 707 | 100.0 |         |         |

**q8b次の事柄への抵抗感: 在日外国人が自分の隣近所に住んでいること**

|     |            | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | まったく抵抗はない  | 60  | 8.5   | 9.0     | 9.0     |
|     | あまり抵抗はない   | 220 | 31.1  | 33.0    | 42.0    |
|     | どちらかともいえない | 202 | 28.6  | 30.3    | 72.4    |
|     | 少し抵抗がある    | 140 | 19.8  | 21.0    | 93.4    |
|     | 抵抗がある      | 44  | 6.2   | 6.6     | 100.0   |
|     | 合計         | 666 | 94.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値    | 41  | 5.8   |         |         |
| 合計  |            | 707 | 100.0 |         |         |

q8c次の事柄への抵抗感：在日外国人と自分の子どもが結婚すること

|     |            | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | まったく抵抗はない  | 38  | 5.4   | 5.7     | 5.7     |
|     | あまり抵抗はない   | 135 | 19.1  | 20.3    | 26.0    |
|     | どちらかともいえない | 185 | 26.2  | 27.8    | 53.8    |
|     | 少し抵抗がある    | 169 | 23.9  | 25.4    | 79.2    |
|     | 抵抗がある      | 138 | 19.5  | 20.8    | 100.0   |
|     | 合計         | 665 | 94.1  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値    | 42  | 5.9   |         |         |
| 合計  |            | 707 | 100.0 |         |         |

q9「外国人」と聞いて、まず思い浮かぶ国の人

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | アメリカ人   | 228 | 32.2  | 35.0    | 35.0    |
|     | ブラジル人   | 255 | 36.1  | 39.1    | 74.1    |
|     | 中国人     | 65  | 9.2   | 10.0    | 84.0    |
|     | 韓国・朝鮮人  | 58  | 8.2   | 8.9     | 92.9    |
|     | フィリピン人  | 33  | 4.7   | 5.1     | 98.0    |
|     | その他     | 13  | 1.8   | 2.0     | 100.0   |
|     | 合計      | 652 | 92.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 55  | 7.8   |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

q9t「外国人」と聞いて、まず思い浮かぶその他の国の人

|    |             | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|----|-------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効 |             | 695 | 98.3  | 98.3    | 98.3    |
|    | イギリス人       | 1   | .1    | .1      | 98.4    |
|    | ドイツ人        | 1   | .1    | .1      | 98.6    |
|    | どこでも        | 1   | .1    | .1      | 98.7    |
|    | フランス、ドイツ    | 1   | .1    | .1      | 98.9    |
|    | ベトナム        | 1   | .1    | .1      | 99.0    |
|    | ヨーロッパ系      | 1   | .1    | .1      | 99.2    |
|    | 外国人の方はおられない | 1   | .1    | .1      | 99.3    |
|    | 国ではないが白人    | 1   | .1    | .1      | 99.4    |
|    | 全て          | 1   | .1    | .1      | 99.6    |
|    | 特定の国を意識しない  | 1   | .1    | .1      | 99.7    |
|    | 日本以外全て      | 1   | .1    | .1      | 99.9    |
|    | 北朝鮮         | 1   | .1    | .1      | 100.0   |
|    | 合計          | 707 | 100.0 | 100.0   |         |

q10a次の国の人々への親しみ：アメリカ人

|     |               | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | とても感じる        | 53  | 7.5   | 8.4     | 8.4     |
|     | どちらかといえば、感じる  | 307 | 43.4  | 48.4    | 56.8    |
|     | どちらかといえば、感じない | 192 | 27.2  | 30.3    | 87.1    |
|     | まったく感じない      | 82  | 11.6  | 12.9    | 100.0   |
|     | 合計            | 634 | 89.7  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値       | 73  | 10.3  |         |         |
| 合計  |               | 707 | 100.0 |         |         |

**q10b 次の国の人々への親しみ: ブラジル人**

|     |               | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | とても感じる        | 27  | 3.8   | 4.3     | 4.3     |
|     | どちらかといえば、感じる  | 197 | 27.9  | 31.2    | 35.5    |
|     | どちらかといえば、感じない | 284 | 40.2  | 45.0    | 80.5    |
|     | まったく感じない      | 123 | 17.4  | 19.5    | 100.0   |
|     | 合計            | 631 | 89.3  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値       | 76  | 10.7  |         |         |
| 合計  |               | 707 | 100.0 |         |         |

**q10c 次の国の人々への親しみ: 中国人**

|     |               | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | とても感じる        | 16  | 2.3   | 2.5     | 2.5     |
|     | どちらかといえば、感じる  | 168 | 23.8  | 26.8    | 29.3    |
|     | どちらかといえば、感じない | 295 | 41.7  | 47.0    | 76.3    |
|     | まったく感じない      | 149 | 21.1  | 23.7    | 100.0   |
|     | 合計            | 628 | 88.8  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値       | 79  | 11.2  |         |         |
| 合計  |               | 707 | 100.0 |         |         |

**q10d 次の国の人々への親しみ: 韓国・朝鮮人**

|     |               | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | とても感じる        | 24  | 3.4   | 3.8     | 3.8     |
|     | どちらかといえば、感じる  | 179 | 25.3  | 28.3    | 32.1    |
|     | どちらかといえば、感じない | 282 | 39.9  | 44.5    | 76.6    |
|     | まったく感じない      | 148 | 20.9  | 23.4    | 100.0   |
|     | 合計            | 633 | 89.5  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値       | 74  | 10.5  |         |         |
| 合計  |               | 707 | 100.0 |         |         |

**q10e 次の国の人々への親しみ: フィリピン人**

|     |               | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | とても感じる        | 13  | 1.8   | 2.1     | 2.1     |
|     | どちらかといえば、感じる  | 139 | 19.7  | 22.3    | 24.4    |
|     | どちらかといえば、感じない | 323 | 45.7  | 51.8    | 76.1    |
|     | まったく感じない      | 149 | 21.1  | 23.9    | 100.0   |
|     | 合計            | 624 | 88.3  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値       | 83  | 11.7  |         |         |
| 合計  |               | 707 | 100.0 |         |         |

**q11a10年くらい前と比べてこの地域の景気はよくなった**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 15  | 2.1   | 2.3     | 2.3     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 58  | 8.2   | 8.7     | 11.0    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 266 | 37.6  | 39.9    | 50.9    |
|     | そう思わない          | 327 | 46.3  | 49.1    | 100.0   |
|     | 合計              | 666 | 94.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 41  | 5.8   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q11b10年くらい前と比べてあなた自身の暮らし向きはよくなった**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 23  | 3.3   | 3.4     | 3.4     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 154 | 21.8  | 23.0    | 26.4    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 247 | 34.9  | 36.8    | 63.2    |
|     | そう思わない          | 247 | 34.9  | 36.8    | 100.0   |
|     | 合計              | 671 | 94.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 36  | 5.1   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q11c外出してこの町に帰ってきた時に「自分の町に帰ってきた」と感じてホッとする**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 297 | 42.0  | 44.6    | 44.6    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 267 | 37.8  | 40.1    | 84.7    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 58  | 8.2   | 8.7     | 93.4    |
|     | そう思わない          | 44  | 6.2   | 6.6     | 100.0   |
|     | 合計              | 666 | 94.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 41  | 5.8   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q11dこの町の人たちは互いに協力する気持ち(団結心)が強い方だ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 97  | 13.7  | 14.5    | 14.5    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 328 | 46.4  | 49.2    | 63.7    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 174 | 24.6  | 26.1    | 89.8    |
|     | そう思わない          | 68  | 9.6   | 10.2    | 100.0   |
|     | 合計              | 667 | 94.3  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 40  | 5.7   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q11e 事情が許せば、ずっとこの地域に住み続けたい**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 280 | 39.6  | 41.5    | 41.5    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 250 | 35.4  | 37.1    | 78.6    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 93  | 13.2  | 13.8    | 92.4    |
|     | そう思わない          | 51  | 7.2   | 7.6     | 100.0   |
|     | 合計              | 674 | 95.3  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 33  | 4.7   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q11f 町内や校区で一緒にする行事(寄付、清掃、署名運動など)に、参加する方である**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 242 | 34.2  | 36.4    | 36.4    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 248 | 35.1  | 37.3    | 73.7    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 110 | 15.6  | 16.5    | 90.2    |
|     | そう思わない          | 65  | 9.2   | 9.8     | 100.0   |
|     | 合計              | 665 | 94.1  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 42  | 5.9   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q11g この地域は、これから先、生活の場所としてだんだん良くなると思う**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 68  | 9.6   | 10.2    | 10.2    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 190 | 26.9  | 28.6    | 38.8    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 284 | 40.2  | 42.7    | 81.5    |
|     | そう思わない          | 123 | 17.4  | 18.5    | 100.0   |
|     | 合計              | 665 | 94.1  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 42  | 5.9   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q11h この町のためになることをして、何か役に立ちたいと思う**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 138 | 19.5  | 21.2    | 21.2    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 348 | 49.2  | 53.5    | 74.8    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 117 | 16.5  | 18.0    | 92.8    |
|     | そう思わない          | 47  | 6.6   | 7.2     | 100.0   |
|     | 合計              | 650 | 91.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 57  | 8.1   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

q11いろいろなことを総合して(まとめて)、この地域の住み心地はよい法だと思う

|     | 度数              | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |       |
|-----|-----------------|-------|---------|---------|-------|
| 有効  | そう思う            | 157   | 22.2    | 23.5    | 23.5  |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 361   | 51.1    | 54.0    | 77.4  |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 109   | 15.4    | 16.3    | 93.7  |
|     | そう思わない          | 42    | 5.9     | 6.3     | 100.0 |
|     | 合計              | 669   | 94.6    | 100.0   |       |
| 欠損値 | システム欠損値         | 38    | 5.4     |         |       |
| 合計  |                 | 707   | 100.0   |         |       |

q12a在日外国人のための活動への参加:日本人と外国人が交流するイベント

|     | 度数               | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |       |
|-----|------------------|-------|---------|---------|-------|
| 有効  | 参加したい            | 39    | 5.5     | 6.0     | 6.0   |
|     | どちらかといえば、参加したい   | 254   | 35.9    | 38.8    | 44.8  |
|     | どちらかといえば、参加したくない | 245   | 34.7    | 37.5    | 82.3  |
|     | 参加したくない          | 116   | 16.4    | 17.7    | 100.0 |
|     | 合計               | 654   | 92.5    | 100.0   |       |
| 欠損値 | システム欠損値          | 53    | 7.5     |         |       |
| 合計  |                  | 707   | 100.0   |         |       |

q12b在日外国人のための活動への参加:多文化共生について学ぶための講演会や学習会

|     | 度数               | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |       |
|-----|------------------|-------|---------|---------|-------|
| 有効  | 参加したい            | 38    | 5.4     | 5.9     | 5.9   |
|     | どちらかといえば、参加したい   | 232   | 32.8    | 36.0    | 41.9  |
|     | どちらかといえば、参加したくない | 248   | 35.1    | 38.5    | 80.4  |
|     | 参加したくない          | 126   | 17.8    | 19.6    | 100.0 |
|     | 合計               | 644   | 91.1    | 100.0   |       |
| 欠損値 | システム欠損値          | 63    | 8.9     |         |       |
| 合計  |                  | 707   | 100.0   |         |       |

q12c在日外国人のための活動への参加:外国人のホームステイ受け入れ

|     | 度数               | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |       |
|-----|------------------|-------|---------|---------|-------|
| 有効  | 参加したい            | 26    | 3.7     | 4.0     | 4.0   |
|     | どちらかといえば、参加したい   | 112   | 15.8    | 17.3    | 21.3  |
|     | どちらかといえば、参加したくない | 307   | 43.4    | 47.4    | 68.8  |
|     | 参加したくない          | 202   | 28.6    | 31.2    | 100.0 |
|     | 合計               | 647   | 91.5    | 100.0   |       |
| 欠損値 | システム欠損値          | 60    | 8.5     |         |       |
| 合計  |                  | 707   | 100.0   |         |       |

**q12d在日外国人のための活動への参加:外国人を対象とした日本語教室でのボランティア**

|     |                  | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 参加したい            | 26  | 3.7   | 4.0     | 4.0     |
|     | どちらかといえば、参加したい   | 154 | 21.8  | 24.0    | 28.0    |
|     | どちらかといえば、参加したくない | 300 | 42.4  | 46.7    | 74.7    |
|     | 参加したくない          | 163 | 23.1  | 25.3    | 100.0   |
|     | 合計               | 643 | 90.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値          | 64  | 9.1   |         |         |
| 合計  |                  | 707 | 100.0 |         |         |

**q12e在日外国人のための活動への参加:生活に困っている在日外国人のための支援**

|     |                  | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 参加したい            | 20  | 2.8   | 3.1     | 3.1     |
|     | どちらかといえば、参加したい   | 189 | 26.7  | 29.2    | 32.3    |
|     | どちらかといえば、参加したくない | 298 | 42.1  | 46.1    | 78.4    |
|     | 参加したくない          | 140 | 19.8  | 21.6    | 100.0   |
|     | 合計               | 647 | 91.5  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値          | 60  | 8.5   |         |         |
| 合計  |                  | 707 | 100.0 |         |         |

**q12f在日外国人のための活動への参加:通訳や翻訳**

|     |                  | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 参加したい            | 12  | 1.7   | 1.9     | 1.9     |
|     | どちらかといえば、参加したい   | 96  | 13.6  | 15.1    | 17.0    |
|     | どちらかといえば、参加したくない | 285 | 40.3  | 44.8    | 61.8    |
|     | 参加したくない          | 243 | 34.4  | 38.2    | 100.0   |
|     | 合計               | 636 | 90.0  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値          | 71  | 10.0  |         |         |
| 合計  |                  | 707 | 100.0 |         |         |

**q12g在日外国人のための活動への参加:外国人とコミュニケーションできるようになるための、外国語講座の受講**

|     |                  | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 参加したい            | 32  | 4.5   | 4.9     | 4.9     |
|     | どちらかといえば、参加したい   | 184 | 26.0  | 28.4    | 33.4    |
|     | どちらかといえば、参加したくない | 231 | 32.7  | 35.7    | 69.1    |
|     | 参加したくない          | 200 | 28.3  | 30.9    | 100.0   |
|     | 合計               | 647 | 91.5  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値          | 60  | 8.5   |         |         |
| 合計  |                  | 707 | 100.0 |         |         |

**q13a在日外国人のための相談・支援体制を充実する**

|     |                     | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 重要である               | 153 | 21.6  | 23.5    | 23.5    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要である  | 344 | 48.7  | 52.9    | 76.5    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要ではない | 121 | 17.1  | 18.6    | 95.1    |
|     | 重要ではない              | 32  | 4.5   | 4.9     | 100.0   |
|     | 合計                  | 650 | 91.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値             | 57  | 8.1   |         |         |
| 合計  |                     | 707 | 100.0 |         |         |

**q13b国際理解のための講座、交流イベントを開催する**

|     |                     | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 重要である               | 84  | 11.9  | 13.1    | 13.1    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要である  | 350 | 49.5  | 54.5    | 67.6    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要ではない | 170 | 24.0  | 26.5    | 94.1    |
|     | 重要ではない              | 38  | 5.4   | 5.9     | 100.0   |
|     | 合計                  | 642 | 90.8  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値             | 65  | 9.2   |         |         |
| 合計  |                     | 707 | 100.0 |         |         |

**q13c外国籍児童生徒を対象とした日本語教育や母語保持教育を推進する**

|     |                     | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 重要である               | 156 | 22.1  | 24.1    | 24.1    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要である  | 345 | 48.8  | 53.4    | 77.6    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要ではない | 117 | 16.5  | 18.1    | 95.7    |
|     | 重要ではない              | 28  | 4.0   | 4.3     | 100.0   |
|     | 合計                  | 646 | 91.4  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値             | 61  | 8.6   |         |         |
| 合計  |                     | 707 | 100.0 |         |         |

**q13d全校児童生徒を対象とした国際理解教育を推進する**

|     |                     | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 重要である               | 137 | 19.4  | 21.2    | 21.2    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要である  | 367 | 51.9  | 56.8    | 78.0    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要ではない | 112 | 15.8  | 17.3    | 95.4    |
|     | 重要ではない              | 30  | 4.2   | 4.6     | 100.0   |
|     | 合計                  | 646 | 91.4  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値             | 61  | 8.6   |         |         |
| 合計  |                     | 707 | 100.0 |         |         |



**q13e在日外国人の子どもたちの就学を支援する**

|     |                     | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 重要である               | 125 | 17.7  | 19.4    | 19.4    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要である  | 351 | 49.6  | 54.4    | 73.8    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要ではない | 133 | 18.8  | 20.6    | 94.4    |
|     | 重要ではない              | 36  | 5.1   | 5.6     | 100.0   |
|     | 合計                  | 645 | 91.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値             | 62  | 8.8   |         |         |
| 合計  |                     | 707 | 100.0 |         |         |

**q13f日常生活に必要な情報を外国語で提供する**

|     |                     | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 重要である               | 128 | 18.1  | 19.8    | 19.8    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要である  | 334 | 47.2  | 51.5    | 71.3    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要ではない | 144 | 20.4  | 22.2    | 93.5    |
|     | 重要ではない              | 42  | 5.9   | 6.5     | 100.0   |
|     | 合計                  | 648 | 91.7  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値             | 59  | 8.3   |         |         |
| 合計  |                     | 707 | 100.0 |         |         |

**q13g地方参政権や行政への参画を推進する**

|     |                     | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 重要である               | 61  | 8.6   | 9.6     | 9.6     |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要である  | 287 | 40.6  | 45.0    | 54.5    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要ではない | 230 | 32.5  | 36.1    | 90.6    |
|     | 重要ではない              | 60  | 8.5   | 9.4     | 100.0   |
|     | 合計                  | 638 | 90.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値             | 69  | 9.8   |         |         |
| 合計  |                     | 707 | 100.0 |         |         |

**q13h安心して就労できる環境を整備する**

|     |                     | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 重要である               | 131 | 18.5  | 20.3    | 20.3    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要である  | 368 | 52.1  | 57.1    | 77.4    |
|     | どちらかといえ<br>ば、重要ではない | 118 | 16.7  | 18.3    | 95.7    |
|     | 重要ではない              | 28  | 4.0   | 4.3     | 100.0   |
|     | 合計                  | 645 | 91.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値             | 62  | 8.8   |         |         |
| 合計  |                     | 707 | 100.0 |         |         |

**q13在日外国人に対する社会的諸制度の格差を是正する**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 重要である           | 106 | 15.0  | 16.5    | 16.5    |
|     | どちらかといえば、重要である  | 363 | 51.3  | 56.6    | 73.2    |
|     | どちらかといえば、重要ではない | 133 | 18.8  | 20.7    | 93.9    |
|     | 重要ではない          | 39  | 5.5   | 6.1     | 100.0   |
|     | 合計              | 641 | 90.7  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 66  | 9.3   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q14生活満足度**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 満足している          | 130 | 18.4  | 19.1    | 19.1    |
|     | どちらかといえば、満足している | 262 | 37.1  | 38.6    | 57.7    |
|     | どちらかとも言えない      | 155 | 21.9  | 22.8    | 80.6    |
|     | どちらかといえば不満である   | 85  | 12.0  | 12.5    | 93.1    |
|     | 不満である           | 47  | 6.6   | 6.9     | 100.0   |
|     | 合計              | 679 | 96.0  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 28  | 4.0   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q15a結婚している人の方が、結婚していない人よりだいたい幸せだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 131 | 18.5  | 19.7    | 19.7    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 245 | 34.7  | 36.9    | 56.6    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 160 | 22.6  | 24.1    | 80.7    |
|     | そう思わない          | 128 | 18.1  | 19.3    | 100.0   |
|     | 合計              | 664 | 93.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 43  | 6.1   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q15b結婚のいい点は、経済的に安定することだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 90  | 12.7  | 13.5    | 13.5    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 244 | 34.5  | 36.6    | 50.2    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 229 | 32.4  | 34.4    | 84.5    |
|     | そう思わない          | 103 | 14.6  | 15.5    | 100.0   |
|     | 合計              | 666 | 94.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 41  | 5.8   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q15c 今日、人々が結婚するのは、主に子どもをつくるためだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 34  | 4.8   | 5.1     | 5.1     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 159 | 22.5  | 24.0    | 29.1    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 270 | 38.2  | 40.7    | 69.8    |
|     | そう思わない          | 200 | 28.3  | 30.2    | 100.0   |
|     | 合計              | 663 | 93.8  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 44  | 6.2   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q15d どんな結婚でも、結婚しないよりははまだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 37  | 5.2   | 5.6     | 5.6     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 86  | 12.2  | 12.9    | 18.5    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 225 | 31.8  | 33.8    | 52.3    |
|     | そう思わない          | 317 | 44.8  | 47.7    | 100.0   |
|     | 合計              | 665 | 94.1  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 42  | 5.9   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q15e 子どもの欲しい人は結婚するべきだ**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 184 | 26.0  | 28.0    | 28.0    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 244 | 34.5  | 37.2    | 65.2    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 111 | 15.7  | 16.9    | 82.2    |
|     | そう思わない          | 117 | 16.5  | 17.8    | 100.0   |
|     | 合計              | 656 | 92.8  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 51  | 7.2   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q15f 結婚するつもりがなくても、男女が同居するのは、かまわない**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 87  | 12.3  | 13.1    | 13.1    |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 182 | 25.7  | 27.5    | 40.6    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 222 | 31.4  | 33.5    | 74.1    |
|     | そう思わない          | 172 | 24.3  | 25.9    | 100.0   |
|     | 合計              | 663 | 93.8  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 44  | 6.2   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q15g結婚しようと思っている男女は、結婚前にまず同居してみるのがよい**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 58  | 8.2   | 8.8     | 8.8     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 157 | 22.2  | 23.9    | 32.7    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 264 | 37.3  | 40.1    | 72.8    |
|     | そう思わない          | 179 | 25.3  | 27.2    | 100.0   |
|     | 合計              | 658 | 93.1  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 49  | 6.9   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q15h結婚生活がうまくいかなかったら、たいていは離婚するのが一番よい**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 53  | 7.5   | 8.0     | 8.0     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 176 | 24.9  | 26.5    | 34.5    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 292 | 41.3  | 44.0    | 78.6    |
|     | そう思わない          | 142 | 20.1  | 21.4    | 100.0   |
|     | 合計              | 663 | 93.8  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 44  | 6.2   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q15i結婚情報サービスなどを利用して結婚するのは好ましいことではない**

|     |                 | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|-----------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | そう思う            | 45  | 6.4   | 6.8     | 6.8     |
|     | どちらかといえば、そう思う   | 106 | 15.0  | 16.0    | 22.7    |
|     | どちらかといえば、そう思わない | 319 | 45.1  | 48.0    | 70.8    |
|     | そう思わない          | 194 | 27.4  | 29.2    | 100.0   |
|     | 合計              | 664 | 93.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値         | 43  | 6.1   |         |         |
| 合計  |                 | 707 | 100.0 |         |         |

**q16最終学歴**

|     |            | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 中学校        | 141 | 20.2  | 20.9    | 20.9    |
|     | 高等学校       | 283 | 40.5  | 41.9    | 62.7    |
|     | 短大・高専・専門学校 | 132 | 18.9  | 19.5    | 82.2    |
|     | 大学(4年生)    | 111 | 15.9  | 16.4    | 98.7    |
|     | 大学院        | 9   | 1.3   | 1.3     | 100.0   |
|     | 合計         | 676 | 96.7  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値    | 23  | 3.3   |         |         |
| 合計  |            | 699 | 100.0 |         |         |

**q17配偶関係**

|     |               | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | いる            | 517 | 73.1  | 74.5    | 74.5    |
|     | 現在はいない(離別)    | 16  | 2.3   | 2.3     | 76.8    |
|     | 現在はいない(死別)    | 72  | 10.2  | 10.4    | 87.2    |
|     | 結婚したことがない(未婚) | 89  | 12.6  | 12.8    | 100.0   |
|     | 合計            | 694 | 98.2  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値       | 13  | 1.8   |         |         |
| 合計  |               | 707 | 100.0 |         |         |

**q18過去の住所**

|     |                      | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|----------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 生まれてからずっと現在の住所に住んでいる | 256 | 36.2  | 37.2    | 37.2    |
|     | 滋賀県内の他市町村に住んでいた      | 276 | 39.0  | 40.1    | 77.2    |
|     | 滋賀県外に住んでいた           | 157 | 22.2  | 22.8    | 100.0   |
|     | 合計                   | 689 | 97.5  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値              | 18  | 2.5   |         |         |
| 合計  |                      | 707 | 100.0 |         |         |

**q19米原市内の通算居住年数**

|     |            | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 1年未満       | 6   | .8    | .9      | .9      |
|     | 1年以上3年未満   | 16  | 2.3   | 2.3     | 3.2     |
|     | 3年以上5年未満   | 14  | 2.0   | 2.0     | 5.2     |
|     | 5年以上10年未満  | 23  | 3.3   | 3.3     | 8.5     |
|     | 10年以上15年未満 | 40  | 5.7   | 5.8     | 14.2    |
|     | 15年以上      | 596 | 84.3  | 85.8    | 100.0   |
|     | 合計         | 695 | 98.3  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値    | 12  | 1.7   |         |         |
| 合計  |            | 707 | 100.0 |         |         |

**q20同居している家族員数**

|     |         | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|---------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 1       | 38  | 5.4   | 5.5     | 5.5     |
|     | 2       | 145 | 20.5  | 21.2    | 26.7    |
|     | 3       | 136 | 19.2  | 19.9    | 46.6    |
|     | 4       | 130 | 18.4  | 19.0    | 65.5    |
|     | 5       | 98  | 13.9  | 14.3    | 79.9    |
|     | 6       | 86  | 12.2  | 12.6    | 92.4    |
|     | 7       | 44  | 6.2   | 6.4     | 98.8    |
|     | 8       | 8   | 1.1   | 1.2     | 100.0   |
|     | 合計      | 685 | 96.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値 | 22  | 3.1   |         |         |
| 合計  |         | 707 | 100.0 |         |         |

**q21家族形態**

|     |                      | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|----------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | ひとり暮らし(単身世帯)         | 31  | 4.4   | 4.5     | 4.5     |
|     | 夫婦のみ                 | 127 | 18.0  | 18.6    | 23.2    |
|     | 夫婦と未婚の子ども(核<br>家族世帯) | 200 | 28.3  | 29.3    | 52.5    |
|     | 3世代で同居               | 224 | 31.7  | 32.8    | 85.3    |
|     | その他                  | 100 | 14.1  | 14.7    | 100.0   |
|     | 合計                   | 682 | 96.5  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値              | 25  | 3.5   |         |         |
| 合計  |                      | 707 | 100.0 |         |         |

**q22仕事の種類**

|     |                      | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|----------------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 農林水産業                | 21  | 3.0   | 3.1     | 3.1     |
|     | 自営の商工業               | 34  | 4.8   | 5.0     | 8.0     |
|     | 専門、自由業(教員、医<br>者など)  | 35  | 5.0   | 5.1     | 13.2    |
|     | 管理職(課長級以上)           | 23  | 3.3   | 3.4     | 16.5    |
|     | 事務系の勤め人(ホワ<br>イトカラー) | 85  | 12.0  | 12.4    | 28.9    |
|     | 作業系の勤め人(ブ<br>ルーカラー)  | 86  | 12.2  | 12.6    | 41.5    |
|     | パートタイム・アルバイト         | 89  | 12.6  | 13.0    | 54.5    |
|     | 専業主婦・主夫              | 90  | 12.7  | 13.2    | 67.7    |
|     | 学生                   | 13  | 1.8   | 1.9     | 69.6    |
|     | 無職                   | 173 | 24.5  | 25.3    | 94.9    |
|     | その他                  | 35  | 5.0   | 5.1     | 100.0   |
|     | 合計                   | 684 | 96.7  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値              | 23  | 3.3   |         |         |
| 合計  |                      | 707 | 100.0 |         |         |

**q23過去1年の世帯収入**

|     |              | 度数  | パーセント | 有効パーセント | 累積パーセント |
|-----|--------------|-----|-------|---------|---------|
| 有効  | 0～300万円未満    | 145 | 20.5  | 22.3    | 22.3    |
|     | 300～600万円未満  | 239 | 33.8  | 36.8    | 59.1    |
|     | 600～900万円未満  | 156 | 22.1  | 24.0    | 83.1    |
|     | 900～1200万円未満 | 77  | 10.9  | 11.8    | 94.9    |
|     | 1200万円以上     | 33  | 4.7   | 5.1     | 100.0   |
|     | 合計           | 650 | 91.9  | 100.0   |         |
| 欠損値 | システム欠損値      | 57  | 8.1   |         |         |
| 合計  |              | 707 | 100.0 |         |         |

## 自由記述回答

今回のアンケートについて、または多文化共生のためのまちづくりのためのご意見・ご要望  
(誤字等と判断される文字等については原文を一部修正しています)

- 何だかよくわからない調査ですね。たったの4%で何がわかるのか疑問です。
- 伊吹山東地区が発達するには、交通の便のある長岡周辺に、学校、養老施設、収入源となる冠婚葬祭施設を持っていくことだと思います。仕事も増え、自然と活気が沸き、若者達の仕事、老人達の仕事や、することも増え、ボランティアにしても活気が出ると思います。若い子どもたちが米原地区外に出て行くことも無くなると思います。のんびりとは今のしずまりかえっている町のことで。姿ではないのですか。市の収入源を考え、若者のフリーターや失業者の無い町にして頂きたいと思います。数少ない反対の為に、先の見えない町づくりではいけないと思います。人々の心が淑しげになっていると思います。豊かになり活気があふれば人々の心も広くなり、他人や外国人の人々にも目を向けられるようになると思います。市民は、自分たちのことで精一杯です。まず町に収入源を求めましょう。長浜市や他を見て下さい。近くに長岡駅、それに通ずる米原駅、国道365、21号線、8号線、利用して下さい。
- 日本人に対する差別もなくならないのに外国人に対する差別がなくなるわけがないと思う。今の時代は、差別されている人たちが重視されすぎていて、差別されていない人の方が不利なような気がします。本当に差別をなくす気があるのかがわかりません。
- 平等で安心なまちづくりをお願いしたい。
- 以前主人の仕事の関係で、ある町の文化祭に参加する機会があり、その時に中国の方（その町在住）が日本人の私たちにぎょうざの作り方を教えて下さいました。たまたま、飛び入りで参加して、主人がその文化祭で参加している時間私はその講習に参加したのです。その時役場の方が通訳をされていて、とても素敵だと思って参加しました。その後、長浜の幼稚園児が中国の女性の方に殺されたことをニュースで知り、まだまだ相互に知り合うことのむずかしさを実感しました。やはり他の地域からきた日本人でさえ、戸惑うことが多いのに他国となると、言葉、考え方、習慣などいくつものハードルがあり、交流ということがどの程度できるのか疑問です。かといってやらなければ先に進まないでしょうが、治安などの面からやはり大っぴらに受け入れるということに抵抗を感じます。
- この意識調査は、取りまとめ後、どのように活用、集計をされるのか？
- 高齢のため十分な回答もできませんが提出いたします。
- 別になし。
- 外国人の方、全てに当てはまる訳ではありませんが、マナーがなってない方が多いです。ゴミに関しても燃えるゴミの中に缶・ペットボトル等めちゃくちゃで当番に当たられた方は困っています。私の場合もそうでしたが、たとえどの方がこんな捨て方をしたのかがわかってても外国語が話せないため、言うに言えないのが現状です。そのためご近所の方も外国人を良く思われていない方が多いように思います。
- 高校まで米原市上丹生にいました。その後三重県四日市のコンビナートに就職し、鈴鹿市に3年間、住まいしましたが本年5月に転入しました。四日市や鈴鹿市は、ブラジル人、フィリピン人が多く、米原市では日も浅いせいか、ほとんど外国人は見えていません。四日市市や鈴鹿市では、外国人に対し定年退職した人がボランティアで日本語教室やイベントに参加

しています。多文化共生のための、まずシステム作りを滋賀県と共同で取り進めることが重要と考えます。県が行っている「レイカディア大学」の学科には、こう言った内容がなく、米原市だけでは対応しきれない、大きなテーマだと考えます。

- 国際交流の一環として、姉妹都市を持つことは有益と考える。米原市としても、例えば米国ミシガン州の都市と連携すべきだ。また、小学校における外国語教育については、授業数からして効果に疑問がある。国の政策・方針を待つのではなく、積極的な対応をすべきである。
- 自国の経済のために外国人を利用するのは双方にとって良いことではない。外国人を受け入れるならば、日本人と同じ権利と義務を持って生活できなければ、日本（日本人が外国に）に住む理由はない。
- 1. 企業が外国人を受け入れる場合は、行政と地域が連携して受け入れ体制を万全にするべきである。2. 受け入れたからには、地域住民として同等の権利を与え義務を課すべきで、現在は企業任せでフォローがなすすぎる。3. 解雇され、放り出された外国人はスラム街を形成し、日本人が入ることのできない犯罪者社会を作っていくことになる。4. 日本で住むからには、日本の居住環境に慣れさせ、地域住民と協調できる者のみが、日本に居住できる意識を植えつけることが重要。5. 外国人の子どもは無条件で教育を受けさせるべきである。日本の良さを理解させるのは大人よりも子どもの方が易い。6. 企業、行政、地域、学校が連携して、外国人の住みやすい社会を作るべき。将来必ず日本にとってプラスになる。
- 防災無線で放送されてますが、最初は女子の人が放送されてました時は言っておられる事ははっきりわかりましたが、この頃男子の人の放送では年寄りの私にははっきりしたことが聞きとれません。女子の人の放送にさせていただきませんか。
- 税金が高くて苦しい。
- 問 16、22、23 はなぜ必要なのか理解できない。誰が見てもわかりやすいアンケートにしてください。
- 子どもの家庭は私の遺族年金と長男の給料で生活をしております。長男の給料も少なく、生活していくのが精一杯です。今後は心配です。家のことが第一で外国人のことなんて考えている状態ではありません。日本で就労するのであれば、外国人、一人一人が、自覚をもって責任をもって取り組むべきであり、誰かに頼るなんてことは甘い考えだと思う。ある程度の教育というのは必要であるが、後は本人が行動を起こしていかないといけないことだと思う。そして、外国人による犯罪が増えている。何をするかわからない。言葉の違いで余計である。私の町には村には外国人の人は、何の村の会にも参加しないじゃないですか。いる意味ないです。昔から村にある風習、文化を大切にしていた方がいい。外国人は、母国で生活した方がいいんです。
- 私は結婚後この米原市に住むようになりました、近所づきあいがあまりなく、プライベートな部分まで入り込まれない環境がとても気に入っています。今までは他人が色々うわさ話をしたり、人の行動を見て時にはおせっかいすぎる行動に出たりすることがとても嫌でした。他人に干渉されずに生活できる今の環境はとても良いと思っています。年をとってくると少しさみしくなってくるかもしれませんが、自分がつきあいたい人とだけ選んでつきあえる環境にあると思います。外国人とは子どもの保護者という立場でつきあっていますが、とても気さくな方で話しやすいです。でも、あまり深いつきあいはしたくないというのが本音です。それは外国人だからという訳ではなく、日本人であっても人それぞれ価値観が違うのはあたりまえ。それを批判されたりかげ口をたたかれたりするの嫌だからです。自分をわかってもらえるのは家族だけで十分だと思っています。友達だって本当の意味での理解は得られません。女性は結婚すると友達より家族が大事になってくるものだとつくづく感じます。結婚



することが幸せだとは限りませんがこれからは結婚という形式だけにとらわれず、自由な選択ができる世の中になっていくことを望みます。

- 生活にゆとりがないと、自分事ばかりで、他人事を考えたり、何かをするなんてできない。自分の生活で精一杯。
- ・環境に対する考えが違い、日常生活において、私たちの年齢の者が育ってきた躰に相当する事柄が守ってもらえない（例えば、ゴミの分別、地域での清掃活動） ・お国柄か親近感の考え方が違う。
- 外国の方の文化や風土等を紹介していただけるような催しがあればいいと思います。また歴史等に興味があります。
- 町づくりは大変重要なテーマであると思う。日常生活の中で、必要な地道な町の整備を始めてほしい。日本人も外国人も一緒になってやればいいと思う。米原市は自然に恵まれた住み良いところですが、川や湖、あるいは、町中のゴミが目立つようです。駅の整備や観光振興も重要ですが、町の川のゴミ、湖のゴミ、山のゴミをなくしてほしいと思います。人の心はまず、きれいな町づくりによって心もきれいになると思います。人との交流もそういったきれいな町づくりによって深めていければいいと思います。
- 市民に対して十分な行政がなされていないのに、外国の人に対してこのような意識調査は疑問に思う。問8に対しても、その人柄で変わるので回答しにくい。
- 夜に外国人の方々が集まって騒いでいるのを見ると、あまりいい気がしません。また、子どもが大人とともに夜遅くに外にいるのもどうかと思います。全ての外国人がそうではないのですが・・・外国人が働く前に日本のモラルや文化等を教えてほしいと思います。それに、子どもが学校に行っても、親は日本語を話せない方もいらっしゃいます。日本語を教える機会を増やして、できるだけ日本と外国との間の壁を低くしてください。
- 収入には年金も含まれています。
- 外国人、個人単位では偏見はない。ただ、外国人による犯罪を考えると、身構えてしまう。外国人の車の運転等を見ている、かなり怖い。「外国人だから仕方がない」を無くしていく方が先決かも。
- 結婚観、家族観については、各自の自由だと思うので、質問される意図ががよく分かりませんでした。人により、状況により異なり、選択肢より選べませんでした。
- 過去の米原を振り返りますと、行政も議員も活力がなく、発展は旧態依然とした惰性で流れている今日だと思います。市役所意識を捨て、企業（米原市株式会社）と考えて発想の転換及び、危機感を抱いて業務に専念していただきたい。社長は市長、市民は株主です。そして将来を見つめた米原市と市民や議員を交えた懇談会を年に2~3回開かれてはいいかなものではないでしょうか！現在の泉市長にはマニフェストが無い。何も現れてこない。議員も歳費増額だけで次元が低い。
- 米原駅周辺ばかりに税金を使わないでください。米原市になって、雪の日は除雪されなくなったし、税金は高くなるし、米原市になったメリットがわかりません。いろいろな方向からより住みやすい安心して住める米原市になることを願います。
- 在日外国人にとって言葉の壁は大きいと思います。市役所の窓口で外国語の話せる人や、日本語を各国の言葉に翻訳した冊子等の準備がいます。私たち日本人も外国の人との共生はしたいと思っています。まずはお互いに理解し合うことが大切なのですが・・・。
- 多文化共生の目的を明確にしなければ、やるべきことが検討違いになる恐れがある。鉄道網を生かした労働力の集約なのか、国際社会に向けた教育の基板をつくるためなのか、方向は様々だと思う。ただ外国人が住みやすい社会を作るだけでは、米原市として得られるものは

何もないと思う。

- 各家に一戸のグループホームが必要。高齢化に伴い、若い人が益々旧家を離れ、独り住まいの老人が増加する。
- 私は年もいっていますから、外国人というだけで仲間には入っていきませんが、やはり、日本人という血が流れていて、諸外国の方とは接しにくい所があります。生活習慣も違いますからね。外国の方との交流があつて、言葉も通じ合えば、話ができて面白いかもしれません。外国の風習を知るのもいいかもしれません。狭い日本より、広い外国の国を想像するのもいいかもしれません。交流があれば参加して考え方が違ってくるかもしれませんね。
- 今回のアンケートの内容は、私自身高齢のため、回答に困る。
- 昨今、外国人労働者またご家族が増えてきているように感じます。外国の方と文化交流などの機会が増えていくことは、これからの時代のことを考えれば喜ばしいことではあります。同時にモラル等の分からない方が増え、犯罪、近所住民とのトラブルが増えていくのではないかと心配しております。そのようなことが起こらないためにも住所登録をされている方を対象としたこれから住む地域や日本の文化のことの勉強会などの場を作り、お互いが安心して生活できる地域になっていければ、いいのではと思います。
- 外国人に日本の交通ルールを教えてほしい。
- このようなアンケートは無駄な税金の使用だと思う。これを作成した公務員の時間給も無駄である。こんなものために、私たちの税金を使ってほしくない！
- 何も知らずに当地に住んで20数年になります。周りの人と仲良くしようと思っても、できない場合があります。いくつかありますけど、全然話さない人もいます。このアンケートは外国人をどう思うかということですが、その前に住んでいる人にアンケートが欲しかったと思います。内容1、風呂のバーナーが家の方に向いている。(熱風が来て困っている) 2、バーナーの音がうるさい。(私の家は煙突式です) 3、深夜1時から2時、もっと長い時間風呂に入る。(どうしたらいいか言ってもだめです) 4、犬も時によって泣かせておく時があります。アンケートありがとうございました。当局ご指導と取り組みよろしく申し上げます。
- 外国人だけでなく、日本人同志の中に今日の社会情勢の中に差別は潜んでいます。中々頭では理解できても、行動は別の時が私自身多々あります。浸透するまで行政サイドで差別のない社会づくりの推進をどんどんしてほしいと思います。ただ、マナー化すると税金の無駄使いになると思いますので、企画、計画を目的をはっきりさせ実行に移してほしいです。
- 自分の生活が大変なこの時代に他人のことなど考えるゆとりはない。まして外国人のことなどもってのほか。日本に多くの外国人がき来て、犯した犯罪の数々を考えてみれば、外国人などすれ違うのも怖いことである。最後に米原市でも多くの人が職を失い生活に苦しんでいるのが現状である。まだまだ税金の無駄使いが見えてくるこちらの方を解決してほしい。
- 今の市長は自分のことばかりをアピールして具体的な行政変化が全く実感できないのが残念。行政放送等を自己宣伝ばかりしていて、顔を見るのも嫌気がするほどです。テレビに出る前にこつこつと首長としての仕事を実践してほしい。
- 外国人に対しての感想が多いようですが、以前勤めていた会社で部下に持ったことがありますが、個人差が大きく判断しづらい面があります。
- 今回のアンケートを基にどのように米原市が変わるのか気になる。米原市の対応が良くなるのは良いことだけれど、本当に多文化共生を実現するためには、周りの人の態度や理解も必要となる。外国人は悪いといったイメージを持ったお年寄りなどがいるが、その人たちの考えも変えることができるようにしていくのも大切だと思う。日本にいるのだから、外国人にも日本の文化やしきたりを守るようにするというのは間違ったことだと思う。彼らは自らの

文化を持ったまま日本の中に溶け込んでいくというのが一番よいと思う。自文化を失うことはいけない。人種や言葉の違いで一つにまとめることは難しいが、一つにまとまろうとしたオーストラリアの政治体制のように、うまく一つにまとめるように町づくりを進めていくことが大切だと思う。

- 日本人のマナーの悪さも目立ちますが、外人の方も最近悪いと思います。ただでさえ、税金が高く何に使用されているかわからないのに、また税金が上がる方針だと困る。外人の方は税金を払っているのでしょうか。時々外人の方のほうが、生活が豊かに思えることがありますので、日本人とどう違うのかわかりません。アンケートというアンケートを全て同じ人に送るのはやめてください！
- 私も 80 歳になりましたが、今では御蔭様にて元気でみんな仲良く暮らせることの喜びに感謝するのみ・・・合掌。
- 外国人の方との交流を小さい頃から持つ機会があればいいと思う。大人はやはり英語が苦手な方がいると思うので、つい敬遠してしまいがちに思う。私もその一人です。
- 外国人幼稚園児や小学生の児童のために市の予算で日本語指導教官を配属されたい。
- このようなアンケートは紙代とか郵送代とかもつたいないと思う。ネットとかを使ってアンケートをとるとか、工夫しては？
- 外国人の方々を雇用する側が、責任を持って日本で生活する上でのルール（交通ルールを含む）など、教えるべきである。「安い賃金で雇える」と利益面だけを重視し、容易に就労させすぎだと思う。地域に居住したり就労することは観光とは違うことを外国人にもしっかり理解させるべきである。
- 外国人と教育や町の行事に対して一緒に参加し、交流を深めることは良いことだが、素直に入り込めない（個人的に）。どうしようもない壁のようなものがあります
- 外国籍の人々を守るのは重要であるが本人（外国籍）たちの自覚も重要であると考え。その方たちの教育、指導も重要と考える。両立したとき初めて人様が尊重され人が輝き住み良い町づくりになると思う。
- 米原市だけの問題ではないと思いますが一言。一つは、村の過疎化である。長男で跡継ぎが遠くで就職して家まで購入して帰ってこない人も数人いる。村の行事（おこない、祭り等）についても若い人がいない。70 歳前後の者が主になっていて行っているがこれらの行事もいつまで続けられるか。いずれ中止になると思われる。いずれにせよ近くに就職する企業がないからである。今更企業を誘致するのも困難である。市当局の考えはどうか。定年まで勤務したらよいでは困る。もう一つは害鳥獣である。田地は集約化されている。イノシシやスズメの害に苦慮している。畑地については年寄りがこつこつ働いている。しかしここ数年前からカラスや猿が増え作物を食い荒らしている。特に山の近くの畑では収穫は皆無に近い。人によってはあの畑は物がとれないからと放置している。今後現在の畑が荒地になるのは眼に見えている。もっともっと駆除してほしく思う。先日、農業委員会の人から昔（50 年前くらい）の畑地（現在は荒地）の調査に来た。その土地をどうしようと考えているのか判らない。いずれにせよ市民の声をもっともっと真剣に聞き対策をたてていただきたい。
- 旧山東地域は他の地域よりも色々と合併しているからサービス面が悪くなっていると思います。
- 調査の結果皆様どのように考えているか？雑誌にのせてほしい。全村の考えが判りますし、それをまた参考にして、少しでも良い町づくりにお役に立てばと思います。
- 外国の子どもたちとの交流は必要だと思います。しかし、大人（外国の）たちが日本の文化や生活習慣を理解して私たちと交流しながらボランティア活動なり地域に溶け込む努力も

必要です。ゴミの出し方、となり近所に心をくばる（自己中心にならない）などの日常生活の基本を守るとはとても重要だと思います。それができれば外国人の人たちからも色々なことを教えていただきたいので地域に住まれるのはうれしいことです。

- 外国人が増えるのはかまわないが、犯罪だけは犯してほしくないです。
- 「郷に入っては郷に従う！」今回「外国人」の項目は、ブラジル、中国人など、近隣に多くいらっしゃる方を意識して回答しました。英語圏の方は、比較的日本の常識を理解してる方が多いですが、前者の方はとても友好的な方がいる一方、日本人には余りある言動をとる人がいるのも事実です。私の知人がその類の方に、車上荒らしや窃盗被害にあったこともあり、多少とも偏見を持ってしまうのも事実です。深夜にうろつくことが日本ではあまりよろしくないということや、日本に住むにあたってのマナーなどを、県や市なりがきちんとして、その後に受け入れていくには問題ないと思います。難民を受け入れることは経済的にもかなり議論が必要だと思うし、外国人支援も大切だが、まず第一に地元日本人の生活を豊かにすることや、充実した行政・町づくりが最優先である。
- 日本人が高齢者が多くなり介護者がフィリピン人とか外国の方のお世話になるのは、不安に感じます。近所にも中国人のお嫁さんと結婚されている方がいますが、話す機会はありません。なかなか打ち解けて話せません。線を引いてしまう自分がいます。
- 今日のようにグローバル化型社会構造に移りつつある中で、意識がまだまだ外国人との交流を積極的に進めると言われても、米原市民は今一つ活動の場が少ないので参加していくまでにはいたっていません。外国人が市民となり、経験をもつと我々に知らせてもらえば、その気持ちにもなれるのではないのでしょうか。こちらが交流しようと努力をすると同じに彼ら自身も中身（本音）をさらしていけば、小集落でもいくらでも参加しあえるのではないかと。
- 公共交通機関を増やしてほしい。年を重ねるとつくづく思う。
- 無差別に選ぶことは結構と思いますが、年齢のことを考えて選んでください。80歳以上は無理だと思う。
- ・ポストをぜひ増やしてほしい・街路樹をこれも増やしてほしい・犬を飼っている人が多いので散歩がしにくい
- 外国人といっても人柄による。いい人なら日本人よりいい人もいらっしゃるし、一概には答えられません。
- アンケート多すぎる。
- 問23 子どもたちはそれぞれ別居中のため収入の額はわかりません。
- 外国人と共に地域で暮らすには、まず外国人の国の文化、教育を必ず知ってからつきあわないと危ないと思います。なんでも自分に合わせるのは難しいと思う。“命”ひとつの考えでも日本人、外国人の考えは違う。文化の違い、教育の違いがそうさせているのだと思う。まず、受け入れ先がしっかり他国のことを学習して受け入れないと、危ないと思う。今の地域の環境では無理な気がする。山東ではブラジル人、中国人の方がたくさんいますが、あなたはポルトガル語、中国語が話せますか？どのような教育を受け日本にきたのか理解していますか？
- 日本語を習得されて、普通に町で挨拶ができるよう、外国の方に、日本語研修をされる公共の場が（ボランティアでも良い）各方面にできるのを望む。日本語の習得は、仕事の面や何の方面にも役立つと思う。母語ばかりで母国の人、家族としゃべっておられても親しみは全くわかない。もっと地域に溶け込まれるのを望む。
- 多文化共生のためには、小学校くらいから外国人の方との交流の機会を与えた方が良いのではないかと思います。大人では、やはり抵抗感が強すぎると思うので、子どものころから多

文化に抵抗感も生じにくくなるのではないのでしょうか。

- ・外国人が増えることは悪いことではないが、生活習慣が違いすぎると思う。(出身国によって違いますが) ある程度日本のマナーに合わせてもらう方が良い・ほとんどの外国人の方は人材派遣で金儲けのためではないかと思う。それなので税金の投入で学校の建設等や外国人に過度に合わせたりする必要はないと思う。そして外国人を採用している企業に負担してもらわないと、外国人と接点のない人の負担が増すばかりだと思う。外国人であれ法の下に平等であるが、外国人が増えているのも一過性だと思うので何をするのもよく検討しなければならないと思う。
- 若い世代が他の市に移転するケースが多いと思う。そうなれば税の収入が減少して、将来の米原市が不安！米原市が住宅とか住める環境を世話した方がよい。
- ただ、難民となった外国人の人たちを受け入れることには、一時、賛成しますが永住となると反対です。
- 一筆書かせていただきすみません！！どこで、だれと話をするのも、自分の気の合った者どうして活動していらっしゃる団体が良く見られます。これは、日本人の悪い性格です。自分に合わない人はカットする、そんな団体活動をしていらっしゃっては、はっきり申しまして、多文化共生のためのまちづくりは望めません。気の合う同志でやるのじゃなくて、合うように心を許し合うことが、先決です。人間話し合っって許しあうことが、出来てはじめて、共生のための、町が生まれるのではないのでしょうか。気楽に向き合う姿勢が、大切です。
- 国民年金だけの収入で、外国人のことまで考える余裕はありません。もう少し自分たちの暮らしが楽になったら考えられるかも・・・。
- ・外国人に対する情報提供を充実させることが重要である。例えば外国語による情報誌の配布、メディアによる放送、放映等も外国語を併用するなど考慮すべき。観光案内標識、案内図なども同様。・外国人就労者について、支援体制を確立することにより、外国人による犯罪も減り、従来からの治安を維持できると考える。・外国人の子どもが、日本国民と同様の教育を受けることができるよう整備すべき。また、外国人だけでなく、日本国民も、義務教育期間中は通院を含め、全ての医療費を無償とし、子どもの未来を見据えた社会を確立すべきである。
- こんな無意味なアンケートに経費を出す余裕があるなら、他に必要なところに回してほしい。
- 近年、外国人労働者の増えた理由は、政治的なもの、労働力 etc あると思うが、やはり、犯罪、言葉の問題などで受け入れにくい実情はあると思う。島国文化の日本文化に、外国人の方が住まれることは、日本の文化、法に合わす必要はもちろんあるし、日本人自身も、考え方を変える必要がある。外国人の就労に関しては様々な事情はあるだろうが、日本人よりも優先して保護すべきでもないし差別もだめだ。うまく共存できるような、社会づくり、一人一人の考えはすぐ確立できないので、長い時間をかけて取り組む必要があるのではないか。
- ・外国人が日本に増えることによって日本人の働く場所がなくなってきていると思います。日本に外国人を受け入れるだけの余裕がないと思います。若者が働ける場所をもっと作るべきだ。日本の未来が見えない。\*質問内容が悪い。外国人の生活も大事かもしれないが日本人の生活がもっと大事なのでは？
- 旧山東地域の行政サービスが低下している。
- 外国の方が米原市に多く住まれるのは、そのような環境が整っているからだと思います。

居住区から徒歩で買い物にも行けるし、学校での受け入れ体制も良いと思います。うちの子たちのクラスにもおられますが、日常生活の中などでの交流は、お互いに良い体験になると思っています。個人的には、地域社会が受け入れ、交流して、外国の方の人権や社会的に保障するなどすべきだと思っています。けれど、車の運転がひどくて、考えられない追い抜きにあって、接触しそうになり肝を冷やしたことがありました。万一、事故した場合でも保険へ未加入の方が多ければどう対処できるのか、結局こちらが泣き寝入りになる・・・というのは避けたいです。文化やしきたりと共に、まず、日々に関わる交通マナーや一般常識をしっかりと身に付けていただきたいと切望します。ご指導の方、どうかよろしくお願ひいたします。乱筆乱文お許しくださいませ。

- ・税金を減にしてください（市民税金）・町をもっと豊かにしてほしい・米原市の窓口職員の状態（愛想）が悪い・もっとニコニコ愛想良く対応してほしい・いつ行ってもムツとしている。民間を見学してマナーの「勉強会」をしてはどうですか？態度でかい。
- 外国人にルールへの遵守。（特にゴミの分別）
- アンケートから「外国人」「在日外国人」が同じような扱いをされているようなイメージがあるが、大きく異なるのでは？例えば、「在日外国人」が増えていることの影響を把握するために、「外国人」の影響をアンケートしても意味がないと思う（問7）
- 多文化共生。大いに良いことであるとする。他を見つめたり、交流したりする中で改めて自分の住んでいるところを知り、学んでいくべき！何が大切か、これからの米原何を大切にすべきかを考えるのには大変すばらしいことである。自分の住む町が好きだから・・・協力できることはしていきたい。
- 外国人に言いたいことは、多人数で、たむろしないようにしてほしい。恐怖を感じる。昔よく楽市百貨店の駐車場にたむろしていて、怖い目にあった。それ以後外国人を拒否するようになった。
- 外国人の人も日本に住む以上、ルールを守ってほしい。悪いことをしないでほしい。（他の人の畑に作ってあるものでも持って帰ってしまう人がいると親戚の人から聞いてます）
- 異文化共生のために、行政がいろいろ対策を講じられるのは、結構なことかと思いますが、個人的には、あまり関わりたくないというのが本音ですね。
- ・「答え」当てはまらない項目がある。・「問」が多いように思われる。外国人の方には「永住する」気持ちで地域文化を理解し、なじんだ上で、その人の母国文化や習慣を教えてもらいたい。そのためにも、外国人の生活相談・支援体制を充実させることは重要であると思います。
- ・二択、四択だけではなく、意見が書ける欄が欲しかった。・米原市は、外国との姉妹都市提携はありましたか？
- 今回のアンケートで外国人のことを考えたが、あまり自分自身がよく分かってないことがあり外国人に対し「抵抗」があるのかもしれないと感じている。何か外国人と交流できる機会があれば参加してみたいと思う。
- 私は、もう高齢で外出もままならず、何のお役にも立ちませんが、とにかくアンケートには協力させていただきました。すみません・・・。米原市が人権政策については、高く評価される市になってくれるように希望します。
- 多文化共生はとても良いことだと思う反面、日本人同志でも、近所のトラブルや人間関係に悩む人は多いと思います。人間同志なのだから、仲良くうまくやっへ行けるとは必ずしも言えないと思います。でも、私は接客をしている関係、お客さんが来られて、困っておられる時は、身振り手振りで分かりやすく接しています。また子どもの学校のお母さんで外国の人

がおられますが、会うと必ず話しかけるようにしていて、そんな関係を大切にしたいと思っています。

- 年金受給まで、まだ何年もあるのに、仕事が全く無くても国民年金やら、国民健康保険税やら、引かれるからもう限界。外国人が増えたから日本人の仕事が無くなったのでは？外国人のことを考える余裕なんか今の私には全くありません。
- 日本も就職や仕事の安定していない人が多くなってきているので、外国人入国を制限すべきことと考えます。まずは日本人の安定を考えるのが、第一と考えます。それが人の生活を守るためになると考えます。
- 外国人には偏見があり、交流するのは嫌でした。でも、仕事で接する外国人は、とてもいい人でした。偏見は無くすべきです。日本語をしっかりと話せる外国人もいっぱいいます。避けるのではなく、触れ合ってみることが大事だと思います。
- ・解答の選択肢に不足がある。・質問内容に不適切な項目があると感じられる。Ex.問い 15 の d、問7 の a、i、j。・日本に住んでいる外国人は、税金を払っておられるので、参政権はあるべきだ。参政権がないから、色々な問題が起こっている。
- 好むと好まないにかかわらず世の中、多様化社会になってゆくと間違いないと思います。これらに対応できる人間を一人でも多く育てていく必要を感じます
- 今後の行政、教育の中にわが主張の前に、他人または相手の立場や考え方を理解できるような広告づくり等を考えてほしいと思います。
- 私たちの町には外国人は住んでいませんので、外国人のことについてはあまり知りませんので、参考にはならなかったと思います。ごめんなさいね。
- 最後の質問は本当に必要なのですか？何のためですか？
- 私の娘（42歳）は現在ある海外医療協力会より派遣されて、バングラデシュで働いています。日本の国民は、ぜいたくな暮らしになりすぎてしまっていると思います。
- 一、住居、言葉、お手伝いが出来れば、よろしいのに。老年となり、体力なく、淋しいです。（御迷惑おかけしないようにと思っております。）二、登校拒否の子どもさんの相談相手。（一日数時間）以前、手伝いました。老人にできますことがありましたら、お教えお知らせいただきたいと存じます。
- 投函期限が過ぎ、ご容赦のほどお願い申し上げます。
- 共に勉強を学んだり、ホームステイさせていただいた国の方には自然に好意を持ちます。外国人だからどうのこうの…という気持ちはないです。
- 今現在 93 才です。アンケートは無理です。年齢を調べてから出してください。
- 外国人というだけで別視してはいけないけど考え方・文化の違いから私たちの常識とかけ離れていることが多い。結局、言葉も通じないなどから何をされるのか分からず、恐怖を感じる。人を殺して自国に変えるイメージがある。日本人でも恐ろしい言葉が通じるだけマシ！？ここ数年で米原（田舎）にも外国人が急に増えて、いい感じはしない。
- 在日外国人の支援体制を充実する前に米原市に税金を支払っている日本人の住民が暮らしよい町づくりにもっともっと力を入れていただきたいです。老後ひとり暮らしになっても住み続けていける体制を充実していただきたいと思います。
- 私の家はお宮様の近くですが外灯が少なく道もでこぼこで歩くのに困っております。何とか灯りと道を直してください。
- 外国人の方々を含め、市民全体が密にコミュニケーションを取り合えるような、一つの大家族のような町にさせていただけるようお願いするとともに、私自身も精一杯ご協力させていただきたいと思っております。

- 締め切りまでに出せなくてすみませんでした。
- 別にないです。
- 質問の意味がわからない。質問に対する回答の選択肢がおかしくないですか？外国人に対してのアンケートなのに、「自分がこの地域に住み続けたいですか？」とかの質問の意味がわからない。
- 質問に対する回答文が肯定文と否定文回答例によって違い、注意しないと回答が反対になる恐れがある。
- 米原駅近くに競馬場を作るともっと米原が発展すると思う。米原は何もないから。
- 外国人の人は、優しい人や恐そうな人、いろいろいますが基本的に、してはいけないことですが差別的な目で見てしまいます。ですからあまりかかわりたくはないですが、同じ人間としては幸せな生活を送ってほしいと思います。なかなか難しい。
- どちらでもないという項目があってもいいと思う。(問 11 や 13) 行政が主導的に進め、最終的には民間(NPOや自治会)がまちづくりのための中核的団体になっていくのが理想だとは思いますが、住民の意識改革、学校における種々の教育等、多くの問題はあるけれども、重要なことだと思うので、ぜひよりよい町づくりのために尽力していただきたいし、また、協力できる範囲で協力していければいいと思う。
- ・伝承文化の伝播を主とする文化講座を月1回。 ・老人の知恵袋の次世代へのメッセージの様な文化講座を月1回。 ・映画上映会を月1回。(いずれも、各自の文化施設を月回り単位で活用巡回すると思います。)
- 現在高齢の父がいますが、介護のため安定した職に就くことが出来ず、収入が得られないのが現状です。特老に入れたくとも予約待ちで何年後になるかもわからない状況です。本当に苦しい生活をしています。会社も病気と介護のために自主退社しており、私の年収は80万円にも届かないのが現状です。年金も以前は厚生年金でしたが、退職してからは、収入が少ないために国民年金も払えないためにここ数年は未納になっております。私の老後は現在持病を持ち、年金も任給される規定の年数に届いておらず、これから自分たちの老後に本当に不安になっています。日本国民の私たちですらこのような状況ですので、外国籍市民の方は本当に大変だと思われます。日本国民として滋賀県民として米原市民として、外国人の方を住みやすいように考慮してあげてもらいたいと思います。
- 外国人の在留は良いと思うが、地域のルール、例えばゴミの分別、ゴミ出しの曜日、夜、駐車場で騒がない、スーパーなどで派手な行為等、子どものためだけでなく、地域のため、私たちの安全、安心な生活を守るため、守るべきことは守って生活してほしい。
- もっとたくさんの方々が住める地域にしてほしい。
- 外国籍市民の人権問題とは関係ない質問があるように思う。(問 14、15)
- 外国人についてのアンケートも大切なことですが、私の住んでいる地域には高齢化が進んでいます。とにかく若い人がいないのです。若い人が住みにくい環境になっています。現時点では、外国人・うんぬんより、自分達の町づくりが大切です。お店が閉店していき、若い人が他の場所に住み・・・残っている高齢者だけで、何ができるのでしょうか？地主さんは、土地を売ったり、貸したりせず、町内の発展は全く望めません。こんな町に、魅力は全然ありません。以前は、もう少し住みやすい町だったのですが・・・米原市として、企業努力は望めるのでしょうか・・・。